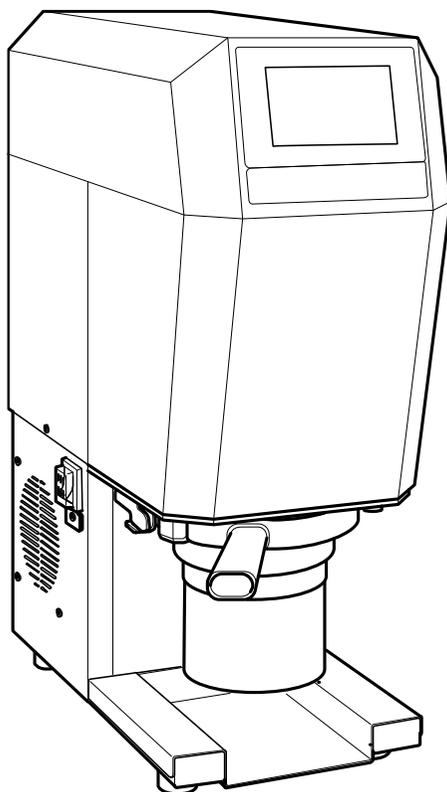


冷凍食材粉碎調理器

EASY GIAZ**取扱説明書****EG-1**
(業務用)

このたびは、当社のEASY GIAZ (EG-1) をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつも大切に保管し、必要なときにお読みください。

EASY GIAZとは？

現在広く使用されているフードプロセッサー、ミキサー、アイスクリームマシンなど、どの調理器具にも属さず、それらの機器を使用しなければならないような料理をより効率的に高品質に仕上げます。

粉碎調理の意味

粉碎調理とは、冷凍されている材料（液体+ 食材）を解凍することなく、本機を使って、ピューレやムース状にすることをいいます。

材料（液体+ 食材）を粉碎調理すると、裏ごしした以上の滑らかなピューレやムースができます。

食材は、あらかじめザク切りにし、十分な量の液体と調味料とを一緒に付属のビーカーに入れて、 -18°C ~ -23°C で24時間以上冷凍させてください。

粉碎調理するときは、本機にビーカーをセットし、粉碎調理する量（ポーション数）を選択して粉碎調理してください。

粉碎調理されなかった分、粉碎調理してビーカーから取り出さなかった残りの分は、再度冷凍庫などで冷凍保存し、必要なときに粉碎調理してお使いいただけるため、材料の無駄が抑えられます。

粉碎調理で可能な料理

シャーベット、アイスクリーム、スフレ、スープベース、ソース、クネル、フィリング、テリーヌ、ムース、カクテルベース、ババロア、クーリー、ビスク、しんじょう、つみれ、練りものなど。

粉碎調理されたものは、グリル、フライ、バイク、ポーチすることもできます。

本機で調理できないもの

お願い

食材以外のものは調理しないでください。

ブレードを傷めたり、ブレードやビーカーを破損したりする原因になります。
動作中に機械が停止する原因になり、故障の原因にもなります。

【全調理共通】 甲殻類の殻、貝の殻、魚介類の骨、動物の骨など堅いもの

ブレードを傷めたり、ブレードやビーカーを破損したりする原因になり、破片が食材に入ると異物混入の原因になります。

調理中に機械が停止する原因になり、故障の原因にもなります。

【全調理共通】 炭酸または炭酸を混合した材料

ビーカーが破裂する恐れがあります。

機械の故障の原因にもなります。

【粉碎調理】 アルコールを混合した材料（液体＋食材）

アルコールは凍りにくいため、材料（液体＋食材）に混合しても凍らせることができません。
アルコールを含ませたい場合は、粉碎調理の直前に、凍った材料（液体＋食材）に少量かけてから粉碎調理をおこなってください。

【粉碎調理】 ビーカー内で少し溶けた材料（液体＋食材）

ブレードの回転にあわせて、ビーカー内で材料（液体＋食材）が回転するため正しく調理できません。

調理中に、機械が停止する原因になり、故障の原因にもなります。

【粉碎調理】 十分に凍らせていない材料（液体＋食材）

きれいに粉碎調理することができません。

【粉碎調理】 十分な液体を入れていない材料（液体＋食材）

きれいに粉碎調理することができません。

【刻み、攪拌調理】 包丁で容易に切ることができないような堅い食材

生のカボチャ、生のさつまいものような堅い食材は、ブレードやビーカーを傷めます。
ブレードやビーカーを破損し、破片が食材に入ると異物混入の原因になります。

調理中に、機械が停止する原因になり、故障の原因にもなります。

もくじ

安全上のご注意.....	1～7	本体のお手入れ.....	54
各部のなまえ.....	8	フィルターのお手入れ.....	55
据付け.....	9～11	フィルターの交換時期.....	55
電源について.....	9・10	ビーカーガasketの	
設置について.....	10・11	分解洗浄(週1回).....	56・57
調理.....	12～35	「設定」.....	58～64
粉碎調理(冷凍した材料		「フィルター」.....	59
(液体+食材)の調理).....	12～23	「言語」.....	60
粉碎調理する材料(液体+食材)の		「チュートリアル」.....	61
準備(冷凍する).....	12・13	「サービス」(その他の確認事項と	
ビーカーに入れて冷凍した材料		設定事項).....	62～64
(液体+食材)を粉碎調理.....	14～23	「情報」(本機の情報).....	63
材料のホイップ.....	24～29	「ファームウェア更新」.....	63
食材(冷凍していない)の刻みと攪拌.....	30～35	「工場初期化」(本機の設定を	
ブレードとビーカーガasketの取り外しと、		工場出荷時の状態に戻す).....	64
取り付けについて.....	36～44	「未使用」.....	64
ブレードの取り外しかたと、		「MAIN LINE SETTINGS」(本機の	
取り付けかた.....	36～42	電源周波数の切り替え).....	64
ブレードの取り外しかた.....	36～38	故障の診断と手当.....	65・66
ブレードの取り付けかた.....	39～42	電源プラグの点検	
ビーカーガasketの取り外しかたと、		(年に1～2回の点検).....	67
取り付けかた.....	43・44	仕様.....	69
ビーカーガasketの取り外しかた.....	43	梱包内容一覧.....	70
ビーカーガasketの取り付けかた.....	44	保証書(別添付)について/消耗部品	
お手入れ.....	45～55	/補修用性能部品の保有期間.....	71
ブレード、ビーカー、ビーカーガasket、			
スピンドルの除菌洗浄.....	46～49		
ブレード、ビーカーガasket、スピンドルの			
すすぎ洗浄.....	50・51		
排気ホースと本機内部の			
排気管内のお手入れ.....	52・53		

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください

表示と意味は次のようになっています。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊙は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊙の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠ 警告



専用電源

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



アース線接続

アース線を必ず接続すること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。



屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

湿気の多い所や、水などがかかり易いところで使用しないこと

本体や電源コードに水がかかると、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、ショート、火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグ(プラグアダプター付)が破損している場合、またはミキサー本体を落としたり破損させたりした場合は使用しないこと

そのまま使われますと、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



点検清掃

電源プラグ(プラグアダプター付)の刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的にコンセントから電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いて確認し、刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着した場合や、接続が不完全な場合は、ショート、感電、火災の原因になります。

⚠ 警告



連絡

漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

電気装置や配線に触れると、感電する恐れがあります。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグ(プラグアダプター付)などの電気部品に触れたり、電源スイッチを操作したりしないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



プラグを抜く

異常時は、電源スイッチを「OFF(切)」にして機械を止め、コンセントから電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いて、すぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



換気

ガス器具などからガスが漏れていたら、本機を使用せずに、窓をあけて換気すること

本機の電源スイッチを操作したり、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いたりすると、引火爆発し危険です。



禁止

本機を食材の粉碎調理、ホイップ、刻み攪拌以外に使用しないこと

食材の調理以外に使用され、ブレードや容器などが破損した場合、異物混入の原因になります。



禁止

ぶつかけたり、落としたりして変形してしまったビーカーは、使わないこと

変形したビーカーを使用しますと、粉碎調理をおこなった際にブレードが破損したり、ブレードがビーカー内を削ったりして、異物混入の原因になります。



禁止

ビーカーガasketを付けずに、ブレードを取り付けての粉碎調理はしないこと

本体とホルダーの間から、食材が漏れ出て、周囲を汚す原因になります。



プラグを抜く

調理の終了後は、電源スイッチを「OFF(切)」にし、電源プラグ(プラグアダプター付)も抜くこと

誤って『START』アイコンに触れた場合、ケガをする恐れがあります。

⚠ 警告



禁止

ビーカー内に食材以外の物を入れないこと

異物混入の原因になります。



禁止

破損したビーカーやブレードは、使用しないこと

破片などが食材に入ると、異物混入の原因になります。



禁止

摩耗や破損したブレードは使わないこと

摩耗や破損したブレードが使われますと、粉碎調理をおこなった際に破片が食材に入り異物混入の原因になります。



禁止

子供の手が届く場所で使用しないこと

ケガをする原因になります。



禁止

子供に器具を使わせないこと

ケガをする原因になります。



禁止

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理したりしないこと

修理に不備があると、ショート、感電、火災などの原因になります。



改造禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、ショート、感電、火災の原因になります。



専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、子供などがケガをする原因になります。

⚠ 注意



水平

丈夫で平らな所に水平になるように置いて使用すること

使用する場所が、ガタついたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。



禁止

本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

コンセントから電源プラグ(プラグアダプター付)を抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ず電源プラグ(プラグアダプター付)を持ってコンセントから抜いてください。電源コードを引っ張ると電源プラグ(プラグアダプター付)内部でコードが傷つき、ショート、感電、火災の原因になります。



禁止

無理な姿勢で本機を持ち上げないこと

本機は重いので、腰への負担がかかります。



本体下側を持つ

本機を持ち上げるときは、本体の下側から持つこと

モーター・ヘッド部やホルダー、ブーサーなどを持って持ち上げたりすると、破損する恐れがあり、転倒や落下の原因になります。転倒や落下によるケガの原因にもなります。



熱器具禁止

熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱で樹脂の部品が変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。



可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置いたりしないこと

本機の電源スイッチを操作したり、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いたりすると、発火の原因になります。



本体を持つ

ホルダーの取り付け、取り外しの際、本体をしっかり押さえておこなうこと

本機を転倒させた場合、ケガの原因になります。食材がこぼれた場合、周囲を汚す原因になります。



除菌洗浄

粉碎調理終了後および、粉碎調理後から、次の粉碎調理までの時間が空くときは、「自動洗浄」機能を使った除菌洗浄をすること

洗浄しないと付着した食材に雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

⚠ 注意



プラグを抜く

「自動洗浄」機能を使った洗浄以外の清掃や点検のときは、必ず電源スイッチを「OFF(切)」にして、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜くこと

誤って『START』アイコンに触れた場合、機械が作動してケガの原因になります。漏電、ショート、感電の原因になります。



除菌洗浄

1日の使用前と使用後は、ブレードとピーカーガセット、スピンドルを必ず付属の除菌洗浄剤で洗浄、清掃すること

洗浄しないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



洗い流す

「自動洗浄」機能を使った除菌洗浄の後は、すすぎ洗浄を必ずおこなうこと

すすぎ洗浄をおこなわないと、残った洗浄剤が食材に入り、健康障害の原因になります。



専用洗浄剤

「自動洗浄」機能を使った除菌洗浄の洗浄剤は、本機専用の除菌洗浄剤を使用すること

他の洗浄剤を使用し、洗剤成分が残った場合、食材に入り健康障害の原因になります。



すすぎ洗い

洗剤を使ってブレードやピーカー、ホルダーなどを洗浄したあとは、洗剤成分を十分にすすぎ洗いをすること

洗剤成分が残っていると、食材に入り、健康障害の原因になります。



プラグを抜く

使用後は、機械が完全に停止していることを確認して、電源スイッチを「OFF(切)」にして、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜くこと

電源プラグ(プラグアダプター付)やコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



動作点検

漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



テープ止め

このお使いになっている商品を転売や、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

お願い

液体、食材の調理以外には使用しないでください。

本機は、冷凍した材料(液体+食材)をピューレ状、ムース状にする、または食材(冷凍していない)の刻み攪拌、卵白などをホイップする機械です。

粉碎調理をおこなうときは、ビーカーに必ず食材全体が浸かる量の液体を一緒に入れて冷凍してください。

食材だけで粉碎調理をおこなっても、粉碎調理されません。

本機では、甲殻類の殻、貝の殻、魚介類の骨、動物の骨など堅いものは粉碎調理をしないでください。

ブレードを傷めたり、ブレードやビーカーを破損したりする原因になり、破片が食材に入ると異物混入の原因になります。

刻み、攪拌調理では、包丁で容易に切ることができないような堅い食材を入れないでください。

生のカボチャ、生のさつまいものような堅い食材は、ブレードやビーカーを傷めます。

ブレードやビーカーを破損し、破片が食材に入ると異物混入の原因になります。

調理中に、機械が停止する原因になり、故障の原因にもなります。

ビーカー内にスプーン、カップなどの異物を絶対に混入させないでください。

異物を混入した状態で、調理をおこなうと、ブレードやビーカーを破損します。

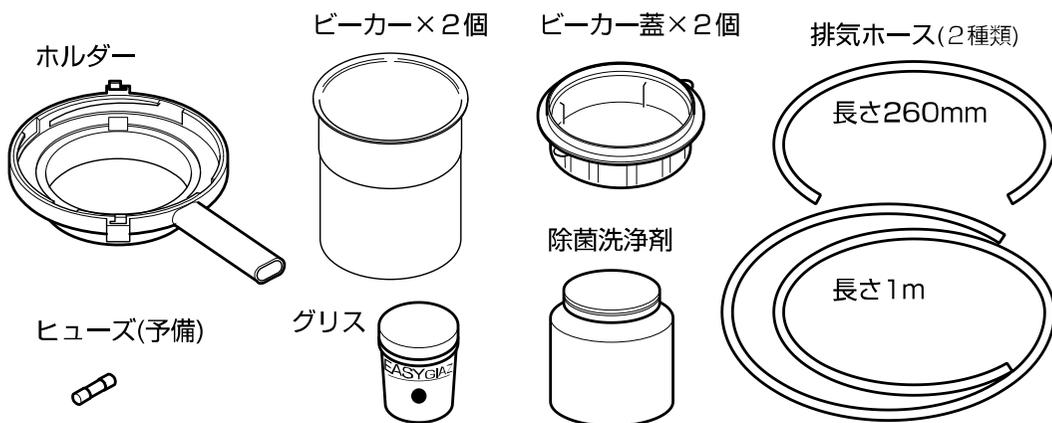
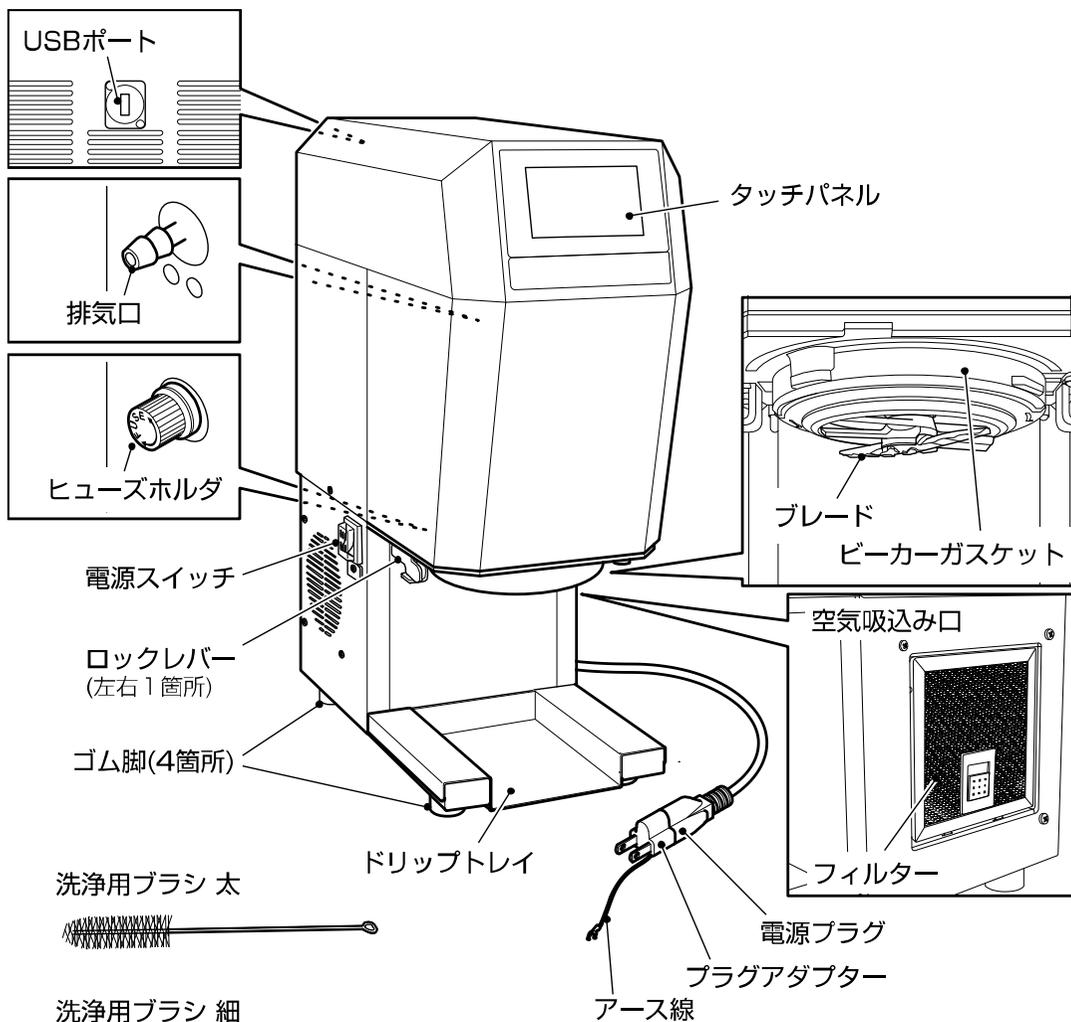
破片が入ると異物混入の原因にもなります。

ビーカーは、直接火にかけたり、オープンなどに入れたりしないでください。

熱により、ビーカーが変形する恐れがあります。

各部のなまえ

本機は、冷凍した材料(液体+食材)をピューレ状、ムース状にすることができます。
食材(冷凍していない)の刻み攪拌、卵白などをホイップすることもできます。



据付け

⚠ 警告



本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用すること
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



アース線を必ず接続すること
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。



湿気の多い所や、水などがかかり易いところで使用しないこと
本体や電源コードに水がかかると、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 注意



丈夫で平らな所に水平になるように置いて使用すること
使用する場所が、ガタついていたたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。

電源について

コンセントの差し込み口が2箇所以上ある場合でも、他の電気製品と同時に使わないようにしてください

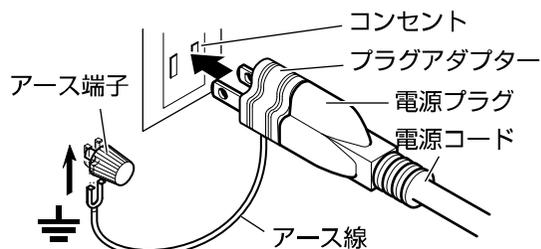
供給電圧：AC100V ± 10%以内

本機は、コンセントに電源プラグ（プラグアダプター付）を接続した場合、コードに余裕があるように据え付けてください

電源コードの長さ：1.1m

プラグアダプターのアース線（緑色の線）を設備側のアース端子に接続してください

ご使用の際は、本機専用のコンセントに電源プラグ（プラグアダプター付）を差し込んでください



お願い

延長ケーブルを使わずに直接 100V のコンセントに接続してください。

長い延長ケーブルなどを使用しますと、電圧降下のため起動しないことがあり、電圧降下が大きい場合（モーター起動電圧AC85V以下）は、モーターの起動電流値が異常に高くなり、故障の原因になります。

本機のパッケージは、移動の必要が生じたとき、運搬時の破損を防ぐため保管しておいてください。

設置について

1. タッチパネルが正面にくるように据え付けてください

2. 本機の周囲は、10cm(100mm)以上空けてください

本機の左側には、電源スイッチがあります。

本機の右側には、空気吸込み口があります。

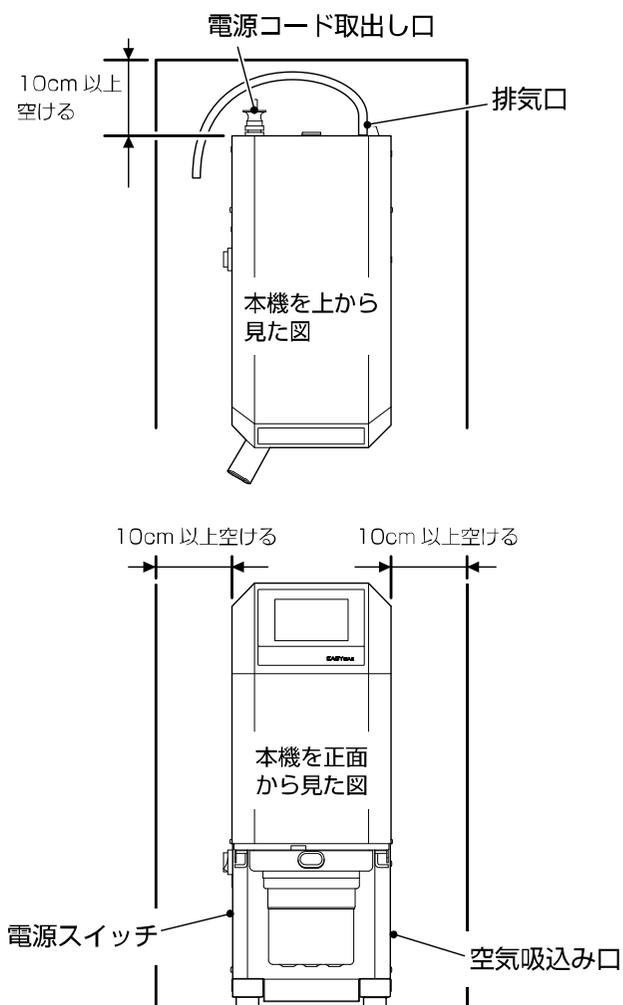
空気吸込み口は塞がないでください。

調理中、ビーカー内に空気による圧力をかけたり、食材に空気を含ませたりします。

本機の後ろ側には、電源コード取出口や、排気口があります。

排気口は、排気ホースを取り付けます。

調理中や調理完了後に、排気ホースから空気と少量の食材が排出されます。

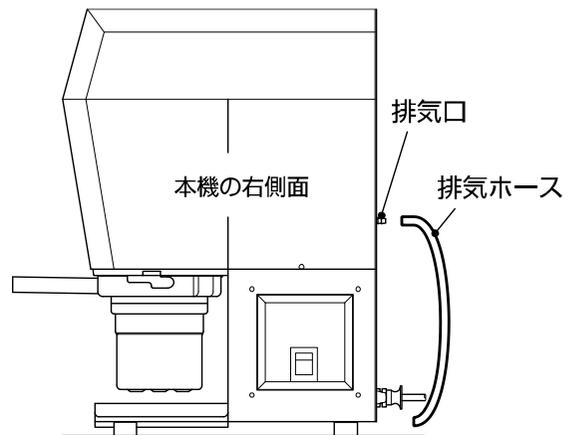


2. 付属の排気ホースを本機背面にある排気口に接続してください

ビーカー内の空気が調理中、または調理後に排気口（排気ホース）から排気されます。

その際、ビーカー内の空気と一緒に、少量の食材が排出されることがあります。

排気ホースは、2種類の長さがありますので、ご使用の環境にあった長さのものを取り付けてください。



調理

粉碎調理（冷凍した材料(液体＋食材)の調理）

お願い

粉碎調理は、冷凍した材料(液体＋食材)以外は使用しないでください。
本機では、甲殻類(カニやエビ、貝など)の殻や堅いものは粉碎調理しないでください。

粉碎調理する材料(液体＋食材)の準備(冷凍する)

※粉碎調理の説明では、以降「材料(液体＋食材)」を「材料」とします。

1. ご使用前に、ビーカーとビーカー蓋をきれいに洗浄してください

警告



ぶついたり、落としたりして変形してしまったビーカーは、使わないこと
変形したビーカーを使用しますと、粉碎調理をおこなった際にブレードが破損したり、ブレードがビーカー内を削ったりして、異物混入の原因になります。

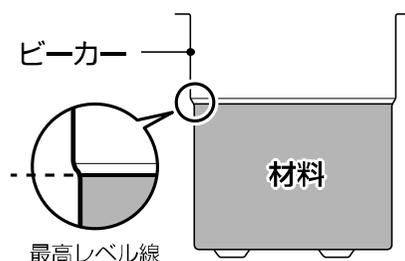
お願い

初めてビーカーをご使用になる前は、必ず洗剤をつけたスポンジなどで、内側をよく洗浄してください。

2. ビーカーに材料を入れてください

材料は、ビーカー内側の最高レベル線(約800mL)までの量を入れてください。

ビーカーに入れた材料は、冷凍する前に十分に混ぜ合わせた後、ビーカーの横を軽くトントンとたたいて、材料内の空気を抜いてください。



お願い

本機に付属されている部品以外は、絶対に使用しないでください。

ビーカーには、必ず食材全体が浸かる量の液体を一緒に入れてください。

食材だけで粉碎調理をおこなっても、うまく粉碎調理されません。

お願い

本機では、甲殻類の殻、貝の殻、魚介類の骨、動物の骨など堅いものは粉碎調理をしないでください。

ブレードを傷めます。ブレードやビーカーを破損し、破片が食材に入ると異物混入の原因になります。

ビーカー内に材料を入れて冷凍する際、スプーン、カップなどの異物は絶対に混入させないでください。

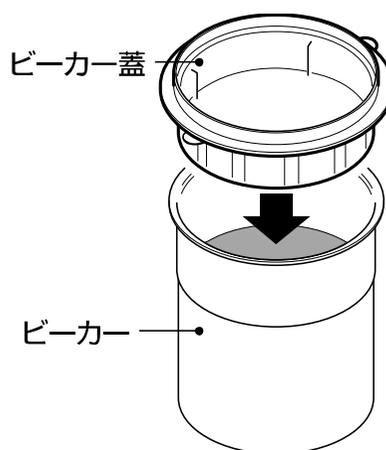
異物を混入した状態で、粉碎調理をおこなうと、ブレードやビーカーを破損します。破片が入ると異物混入の原因にもなります。

ビーカーは、直接火にかけたり、オープンなどに入れたりしないでください。

熱により、ビーカーが変形する恐れがあります。

3. ビーカーにビーカー蓋をしっかりと取り付けて、冷凍庫に入れて冷凍してください

食材は、 -18°C ～ -23°C で24時間以上時間をかけて凍らせてください。



お願い

材料をきれいに粉碎調理するためには、 -18°C ～ -23°C で24時間以上、時間（材料によって時間は異なります）をかけてしっかり凍らせてください。

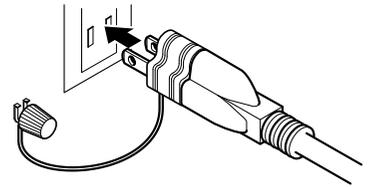
冷凍が不十分だったり、冷凍ムラがあったりしますと、粉碎調理をおこなった際に、ブレードに負荷がかかり、ブレードを破損する恐れがあります。

ブレードが破損した場合、異物混入の原因にもなります。

ビーカーに入れて冷凍した材料（液体+食材）を粉碎調理

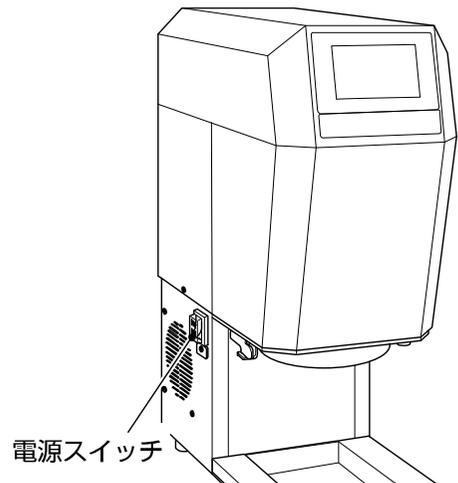
※粉碎調理の説明では、以降「材料(液体+食材)」を「材料」とします。

1. 専用コンセントに電源プラグ(プラグアダプター付)を差し込んでください



2. 本機の電源スイッチを「ON(入)」にしてください

アラーム音が「ピーッ」と鳴ります。



約20秒後、タッチパネルにホーム画面が表示されます。



3. ご使用前に「お手入れ」(45ページ)を参照して、ブレードとビーカーガスをケットを洗淨、清掃してください
4. 本機にビーカーガスカートとブレードが取り付けられていることを確認してください

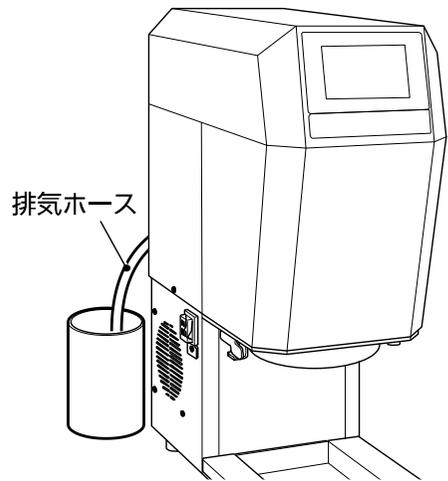
ビーカーガスカート、ブレードが取り付けられていない場合は、「ビーカーガスカートの取り付けかた」(44ページ)、「ブレードの取り付けかた」(39ページ)を参照して取り付けてください。

5. 本機背面の排気ホースの先をお手持ちの容器に刺し込んでください

本機背面の排気ホースからは、粉碎調理終了後、または粉碎調理中にビーカー内の空気が排出されます。

排出の際、空気圧によりビーカー内の少量の液体と一緒に排出されるためお手持ちの容器で受けてください。

排出される液体により周囲を濡らす、または汚す原因になります。



6. 材料を入れて冷凍したビーカーを冷凍庫から取り出し、ビーカー蓋を取り外して、ホルダーをセットしてください

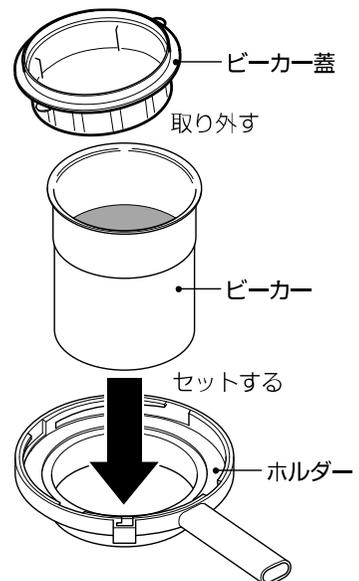
お願い

材料を入れて冷凍したビーカーは、粉碎調理する直前に冷凍庫から取り出して直ぐに粉碎調理してください。

ビーカーを冷凍庫から出して、常温でしばらく放置しますと、ビーカーと接する部分の材料が溶けてしまいます。

ビーカーと接する部分の材料が溶けた状態で、粉碎調理をおこなうと、ブレードが材料をビーカー内でクルクルと回すだけで粉碎調理されません。

その場合、画面にエラーメッセージが表示されて停止します。

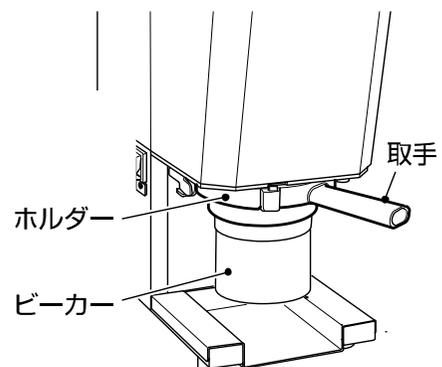


7. ホルダー（ビーカーをセットした状態）を本機に取り付けてください

本機のホルダー取付け部の真下に、本機を正面から見てホルダーの取手が右に約20° 向くようにして持ってください。

ホルダーを本機のホルダー取付け部分に、下からまっすぐ持ち上げて、しっかりとはめ込んでください。

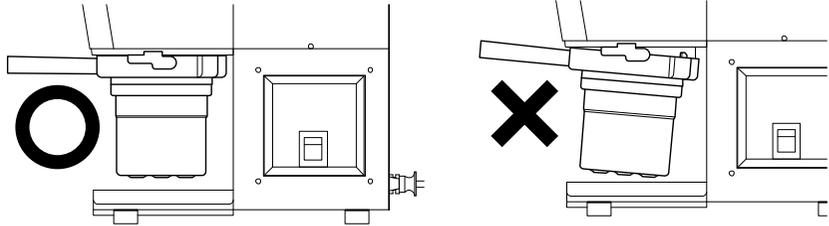
ビーカーを垂直にし、ホルダーのふちを本機のホルダー取付け部にはめ込んでください。



警告

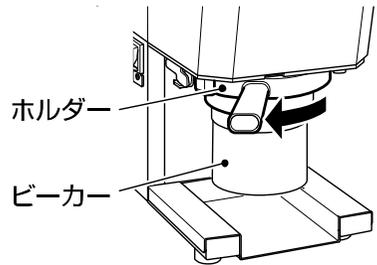


ビーカーを垂直にして、ホルダーを本機のホルダー取付け部にはめ込むこと
ビーカーが斜めに向いている状態で本機に取り付けると、ホルダーの金属部品が本機のプラスチック部品を削ることがあり、異物混入の原因になります。



ホルダーの取手を左方向に止まる（本機を正面から見て約45°）ところまで、しっかり回してください。

ホルダーを回す際、少々固い場合がありますが、これは密閉するため故障ではありません。



お願い

ホルダーは、正しくしっかりと取り付けてください。

ホルダーが、正しくしっかりと取り付けられていないと、『START』アイコンをタッチしても、「作業を開始する前に機械を閉じてください。」の画面が表示され、粉碎調理は開始しません。



8. お好みの粉碎調理のアイコンをタッチしてください



各粉碎調理アイコンの詳細は以下のとおりです。

	1,000回転/分 グラニータのような、少し粗めの仕上がりになります。
	2,000回転/分 アイスクリームのような、なめらかな仕上がりになります。
	3,000回転/分 「P2」より、さらになめらかな仕上がりになります。

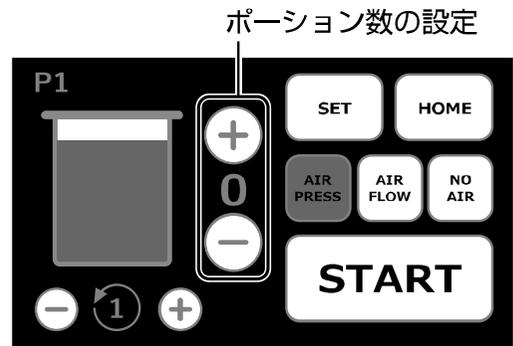
粉碎調理のアイコンをタッチすると、設定画面が表示されます。

9. 粉碎調理するポーション数と、繰返し回数、ビーカー内空気圧を設定してください

ポーション数を設定してください

ポーション数の設定範囲は、1～10ポーションです。

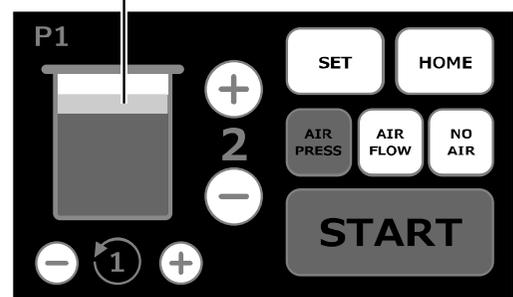
単位は1ポーション刻みで設定することができます。



画面左側のビーカーを表した図で、設定したポーション数が黄色で表示されます。

ビーカー内の材料が、上限まで入っていてもビーカーの図は上限から設定したポーション数を黄色で表示します。

設定したポーション数分が黄色になります。



メモ

ポーション数とは、粉碎調理する量のことです。

工場出荷時は、10ポーションの設定になっていますので、ビーカー底からビーカー内の最高レベル線までを10分割した場合の1つ分が1ポーション(約80g)になります。

1ポーションの値は、設定により20～140gの範囲で変更することができます。量の値(g)はあくまでも目安で、材料により変わります。

メモ

ポーション数の設定をしない（「0」のまま）で『START』アイコンをタッチして粉碎調理をおこなっても、画面に「1以上のポーション数を選択してください。」が表示され、粉碎調理はおこなわれません。

『OK』アイコンをタッチして、1つ前の画面に戻ってポーション数を設定しなおしてください。

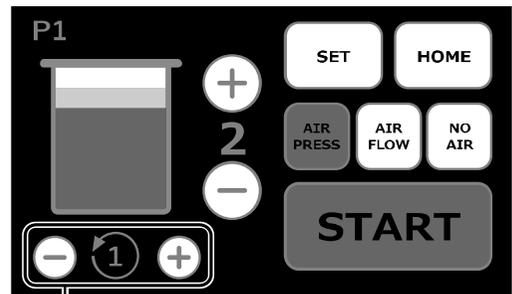
複数種類の液体や食材を同じビーカーに入れて冷凍したとき、比重により材料がビーカー内で均一に混ざらない、または分離することがあります。

材料が、ビーカー内で均一にならないときは、使用量に関係なく、ポーション数を10に設定して、ビーカー内を全て粉碎調理してから、必要な量だけを取り出してください。残った分は、再びビーカーごと冷凍保存してください。

粉碎調理の繰返し回数を設定してください

繰返し回数の設定範囲は、1～10回になります。

初期設定：1回



粉碎調理の繰返し回数の設定

粉碎調理中にビーカー内空気圧をかける設定をしてください

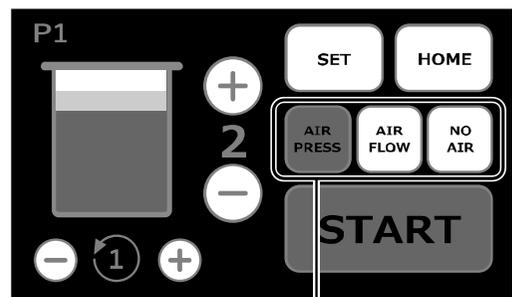
各空気圧の設定アイコンは以下のとおりです。

『AIR PRESS』アイコン：

空気を吸い込みながら、しっかりと材料に空気圧をかけます。調理中、外部の空気を吸い込みますが、循環させないため材料の温度はあまり上がりません。

『AIR FLOW』アイコン：

空気を吸い込みながら、材料に空気を含ませます。調理中、外部の空気を吸い込み循環するため材料の温度はあがります。



空気圧の設定

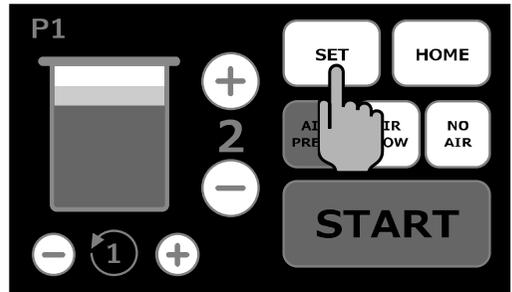
『NO AIR』アイコン：
空気を吸い込みません。
調理中、材料の温度はあまりあがり
ません。

ブレードの降下速度の設定、および1ポーションあたりの粉碎調理の量を設定してください

粉碎調理は、ブレードの降下速度、および
1ポーションあたりの粉碎調理の量を変更
することができます。

設定を変更する場合は、『SET』アイコン
をタッチしてください。

設定画面が表示されます。



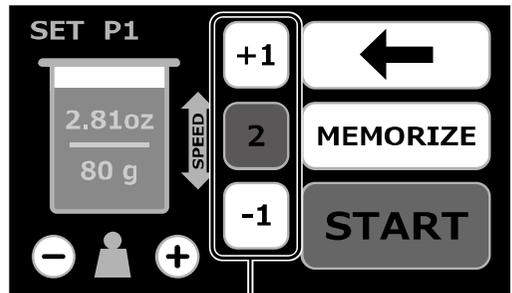
ブレードの降下速度を変更してください。

『+1』や『-1』アイコンで、ブレード
の降下速度を選択してください。

値が大きいほど、降下速度は速くなります。

設定範囲： 「1」～「3」

初期設定値： 「2」



ブレードの降下速度の設定

1ポーションあたりの粉碎調理の量を変更
してください。

設定範囲

『P1』、『P2』、『P3』：「0.70oz/20g」
～「4.92oz/140g」

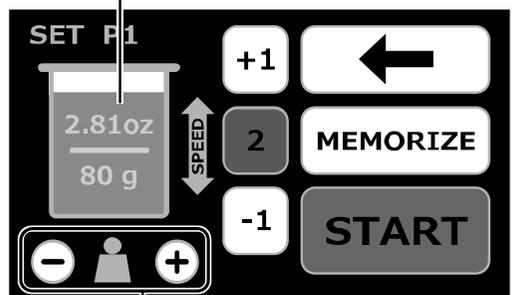
変更は20g刻みになります。

初期設定値： 「2.81oz/80g」

『-』と『+』アイコンで、1ポーション
あたりの粉碎調理の量を選択してください。

『-』や『+』アイコンをタッチするごと
に、ビーカーの図の中に表示されている値
が変わります。

設定を変更すると値が変わります。



1ポーションあたりの粉碎調理の量を設定

例：「0.70oz/20g」に変更した場合、1ポーションが20gになり、ビーカー底から
ビーカー内の最高レベル線までを40分割(ポーション)にすることができます。

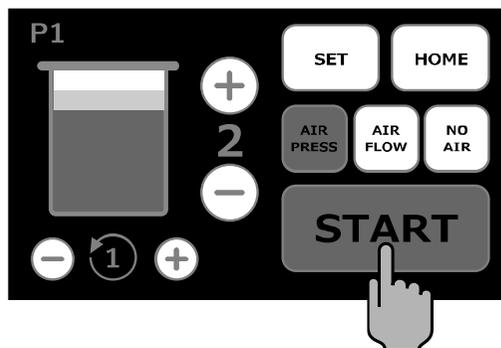
「4.92oz/140g」に変更した場合、1ポーションが140gになり、ビーカー底から
ビーカー内の最高レベル線までを約5分割(ポーション)にすることができます。

『MEMORIZE』アイコンをタッチすると、設定した内容が粉碎調理のアイコンに登録されます。

1つ前の画面に戻る場合は、『←』アイコンをタッチしてください。

10. 『START』アイコンをタッチして粉碎調理をおこなってください

粉碎調理が開始されます。



画面のビーカーの図は、ビーカー内容量の表示で、ビーカー内の粉碎調理の状態を表しています。



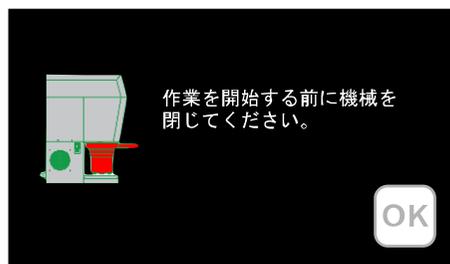
メモ

粉碎調理を途中で止めたい場合は、『STOP』アイコンをタッチしてください。

『STOP』アイコンをタッチして粉碎調理を途中で止めた場合、ブレードが元の位置に戻って停止するまで待ってください。

粉碎調理開始後に「作業を開始する前に機械を閉じてください。」の画面が表示された場合、ホルダーが正しくしっかりと取り付けられていないことを表しています。

ホルダーを正しくしっかりと取り付けてください。

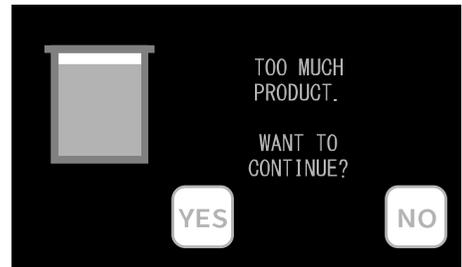


メモ

粉碎調理開始後に「TOO MUCH PRODUCT.」の画面が表示された場合、ビーカー内の材料が、最高レベル線を超えていることを表しています。

『YES』アイコンをタッチした場合
材料が最高レベル線を超えている分と、
設定したポーション数分を粉碎調理
します。

『NO』アイコンをタッチするか、この画
面の表示のまま10秒経過した場合
材料の超えている分だけを粉碎調理し
ます。



粉碎調理の対象の残りポーション数分が黄色で表示されます。

粉碎調理中は、1ポーション終わるごとに、黄色の部分は、白色に変わります。

黄色……粉碎調理の残りポーション分
灰色……粉碎調理しない分



「リクエストポーション」 ……粉碎調理するポーション数の設定値です。

「処理済みポーション」 ……粉碎調理されたポーション数です。

「残り時間」 ……粉碎調理の残り時間です。

繰返し回数を設定している場合、画面左下の粉碎調理の繰返し回数は、1からカウントします。

繰返しの粉碎調理の2回目以降は、ゆっくりおこなわれます。

メモ

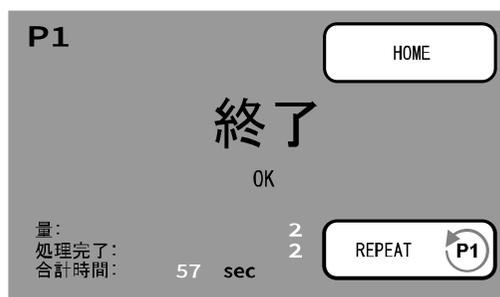
凍らせた材料の冷凍温度や硬さによっては、設定したポーション数を超える量を粉碎調理することがあります。

粉碎調理が終わると、ブレードは待機位置まで戻る動作に切り替わります。

ビーカーの図には、「↑」が表示され、ブレードが戻る動作中を表しています。

ブレードが待機位置に戻り、「残り時間」が「0」になるまで待ってください。

画面には、右図のように表示されます。



お願い

ブレードが待機位置に戻って完全に停止するまで、ホルダーを取り外したり、電源スイッチを「OFF(切)」にしたりしないでください。

ビーカー内の食材が飛び散ったり、ブレードやビーカーが破損したり、または機械の故障の原因になります。

メモ

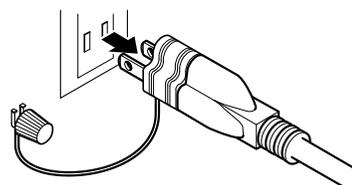
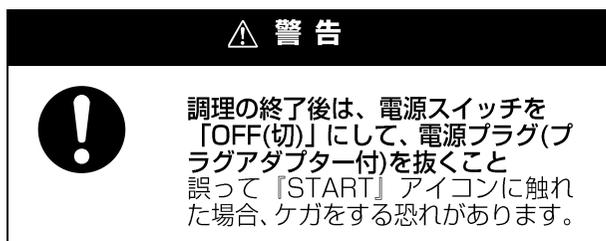
設定したポーション数が、ビーカー内の材料の量を超えていた場合は、ビーカー内の材料をすべて粉碎調理し、「食材不十分。」が表示されます。

画面の背景は赤色の表示になります。

「量」の数値と、「処理完了」の数値を比較して、足りなかったポーション数を確認してください。

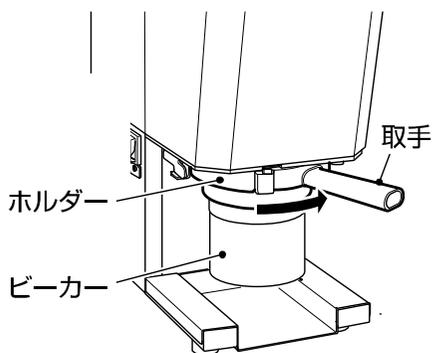


11. 電源スイッチを「OFF(切)」にして、コンセントから電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いてください



12. ホルダー（ビーカーごと）を本体から取り外してください

ホルダーの取手を持って、反時計方向に右方向に止まる場所まで回し、ホルダーを下方向にゆっくり降ろしてください。



13. ビーカーからホルダーを取り外してください

14. ビーカーから粉碎調理された材料を取り出してください

お手持ちのスプーンなどを用いて、ビーカーから粉碎調理された材料の必要な分を取り出してください。

お願い

ビーカー内の材料を全部粉碎調理しなかったとき、または粉碎調理した材料を全て使わなかったときは、ビーカー蓋を取り付けて、素早く冷凍庫に戻してください。

残った材料は、溶けた状態で再度粉碎調理しないでください。

粉碎調理不良や、故障の原因になります。



15. ご使用後、ブレードとビーカーガasket、空になったビーカーは、速やかに洗浄してください

洗浄方法については、「お手入れ」（45ページ）を参照してください。

△ 注意

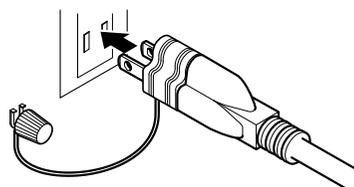


粉碎調理終了後および、粉碎調理後から、次の粉碎調理までの時間が空くときは、「自動洗浄」機能を使った除菌洗浄をすること
洗浄しないと付着した食材に雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

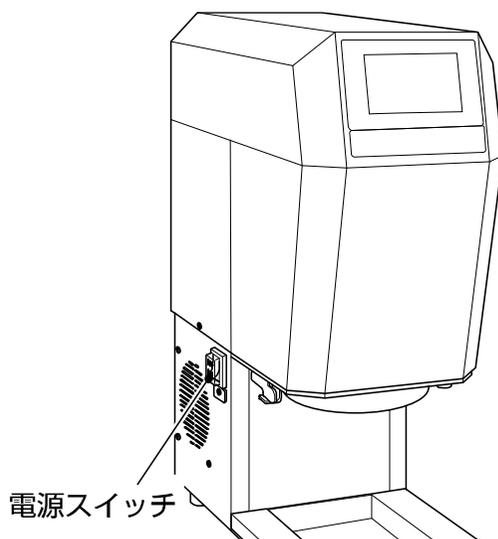
材料のホイップ

ホイップクリームやメレンゲなどを作ることができます。

1. 専用コンセントに電源プラグ(プラグアダプター付)を差し込んでください



2. 本機の電源スイッチを「ON(入)」にしてください
アラーム音が「ピーッ」と鳴ります。



約20秒後、タッチパネルにホーム画面が表示されます。



3. ご使用前に「お手入れ」(45ページ)を参照して、ブレードとビーカーガasketを洗浄、清掃してください
4. 本機にビーカーガasketとブレードが取り付けられていることを確認してください

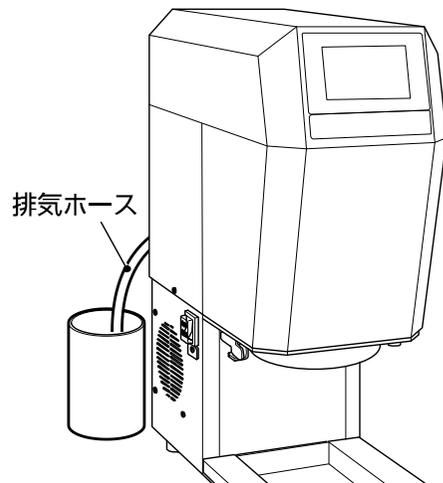
ビーカーガasket、ブレードが取り付けられていない場合は、「ビーカーガasketの取り付けかた」(44ページ)、「ブレードの取り付けかた」(39ページ)を参照して取り付けてください。

5. 本機背面の排気ホースの先をお手持ちの容器に刺し込んでください

本機背面の排気ホースからは、調理終了後、または調理中にビーカー内の空気が排出されます。

排出の際、空気圧によりビーカー内の少量の液体と一緒に排出されるためお手持ちの容器で受けてください。

排出される液体により周囲を濡らす、または汚す原因になります。



6. ビーカーに、材料を入れてください

ビーカー内に、ホイップクリーム、またはメレンゲを作るための材料を入れてください。

お願い

ビーカーに入れる食材は、包丁で容易に切ることができる堅さのものを入れてください。

堅いものを調理されますと、ブレードを破損する原因になり、ブレードの破片が食材に入ると、異物混入の原因になります。

材料の量は、ビーカーの半分（500mL）以下の量にしてください。

材料は、ホイップすると空気を含んで体積が増えるため、材料の量が多すぎるとビーカー内できれいに膨らまない場合があります。

メモ

ビーカーに入れる材料は、あらかじめ冷蔵庫で4℃程度に冷やしておく、本機でホイップした際によりきれいに仕上がります。

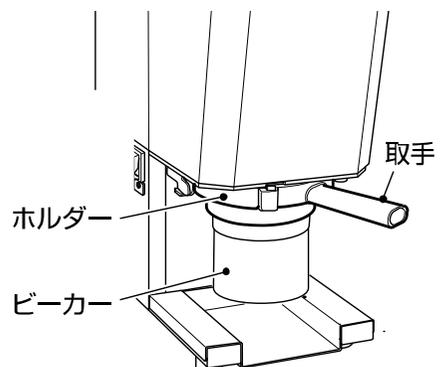
7. ビーカーに、ホルダーをセットしてください

8. ホルダー（ビーカーをセットした状態）を本機に取り付けてください

本機のホルダー取付け部の真下に、本機を正面から見てホルダーの取手が右に約20° 向くようにして持ってください。

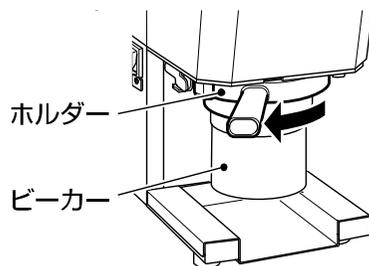
ホルダーを本機のホルダー取付け部分に、下からまっすぐ持ち上げて、しっかりとはめ込んでください。

ビーカーを垂直にし、ホルダーのふちを本機のホルダー取付け部にはめ込んでください。



ホルダーの取手を左方向に止まる（本機を正面から見て約45°）ところまで、しっかり回してください。

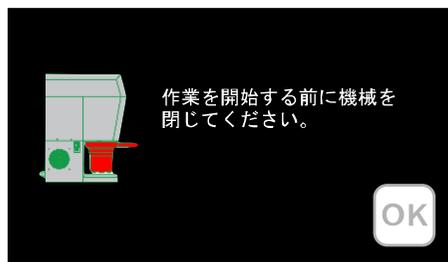
ホルダーを回す際、少々固い場合がありますが、これは密閉するため故障ではありません。



お願い

ホルダーは、正しくしっかりと取り付けてください。

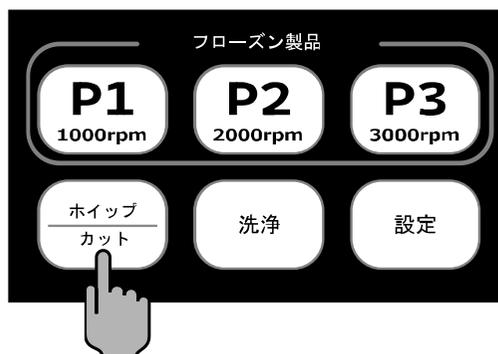
ホルダーが、正しくしっかりと取り付けられていないと、『START』アイコンをタッチしても、「作業を開始する前に機械を閉じてください。」の画面が表示され、粉碎調理は開始しません。



9. ホイップの設定画面を表示させてください

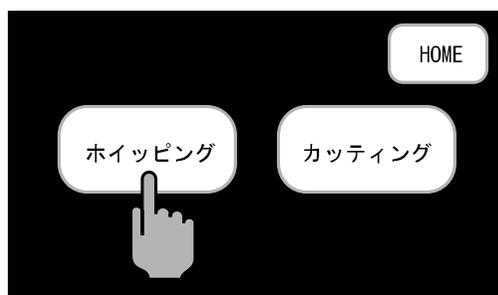
『ホイップ / カット』アイコンをタッチしてください。

選択画面が表示されます。



『ホイッピング』アイコンをタッチしてください。

設定画面が表示されます。



10. 食材の仕上がり、調理の繰り返し回数、ビーカー内圧力を選択、設定してください

食材の仕上がりの設定をしてください

各食材の仕上がりの設定アイコンは以下のとおりです。

『粗い』アイコン：

粗いホイップ

『普通』アイコン：

標準的ホイップ

『細かい』アイコン：

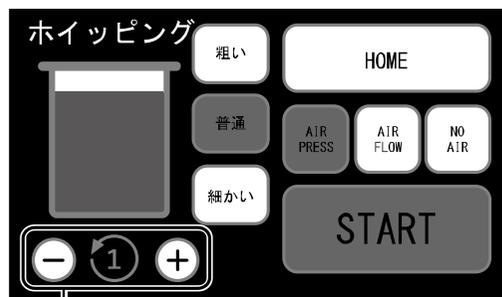
細かいホイップ



調理の繰り返し回数を設定してください

繰り返し回数の設定範囲は、1～10回になります。

初期設定：1回



調理中にビーカー内空気圧をかける設定をしてください

各空気圧の設定アイコンは以下のとおりです。

『AIR PRESS』アイコン：

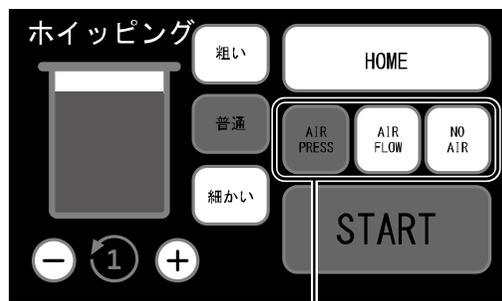
空気を吸い込みながら、しっかりと材料に空気圧をかけます。調理中、外部の空気を吸い込みますが、循環させないため材料の温度はあまりあがりません。

『AIR FLOW』アイコン：

空気を吸い込みながら、材料に空気を含ませます。調理中、外部の空気を吸い込み循環するため材料の温度はあがります。

『NO AIR』アイコン：

空気を吸い込みません。調理中、材料の温度はあまりあがりません。



11. 『START』アイコンをタッチして調理をおこなってください

調理が開始されます。

メモ

調理を途中で止めたい場合は、『STOP』アイコンをタッチしてください。

『STOP』アイコンをタッチして調理を途中で止めた場合、ブレードが元の位置に戻って停止するまで待ってください。



画面のピーカーの図は、ピーカー内の調理状態を表しています。

「↓」と「↑」は、ブレードが降下、または上昇していることを表します。

「↓」の場合……ブレードの降下

「↑」の場合……ブレードの上昇



ブレードは、下まで降りると上昇します。

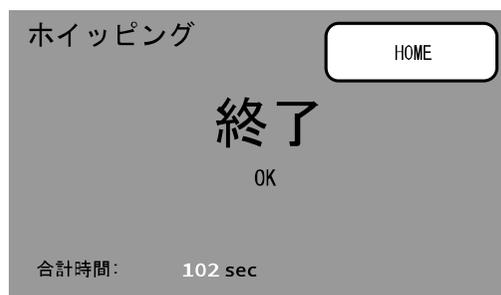
画面左下の値は、繰り返し回数の表示で、現在何回目かを表しています。

調理が終わると、ブレードは待機位置まで戻ります。

ブレードが待機位置に戻り、「残り時間」が「0」になるまで待ってください。



画面には、右図のように表示されます。



お願い

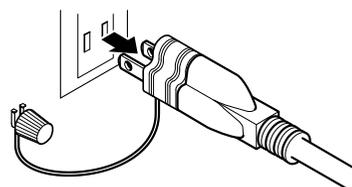
ブレードが待機位置に戻って完全に停止するまで、ホルダーを取り外したり、電源スイッチを「OFF(切)」にしたりしないでください。

ピーカー内の食材が飛び散ったり、ブレードやピーカーが破損したり、または機械の故障の原因になります。

12. 電源スイッチを「OFF(切)」にして、コンセントから電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いてください

⚠ 警告

 調理の終了後は、電源スイッチを「OFF(切)」にして、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜くこと
誤って『START』アイコンに触れた場合、ケガをする恐れがあります。



13. ホルダー（ビーカーごと）を本体から取り外してください

ホルダーの取手を持って、反時計方向に右方向に止まる場所まで回し、ホルダーを下方向にゆっくり降ろしてください。

14. ビーカーからホルダーを取り外してください

15. ビーカーから調理された材料を取り出してください

お手持ちのスプーンなどを用いて、ビーカーから調理された材料を取り出してください。

16. 使用後、ブレードとビーカーガasket、空になったビーカーは、速やかに洗淨してください

洗淨方法については、「お手入れ」（45ページ）を参照してください。

⚠ 注意

 粉碎調理終了後および、粉碎調理後から、次の粉碎調理までの時間が空くときは、「自動洗淨」機能を使った除菌洗淨をすること
洗淨しないと付着した食材に雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

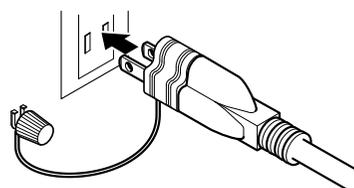
食材（冷凍していない）の刻みと攪拌

例えば、タマネギ、ニンニク、ナッツ、ハーブなどを細かく刻んだり、魚、貝類（殻無し）、牛肉を刻んだり、タルタルソースの食材の刻みと攪拌をしたりすることができます。

お願い

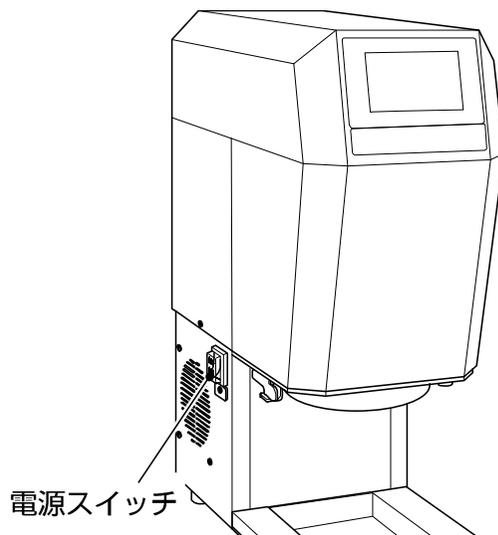
ビーカーに入れる食材は、包丁で容易に切ることができる堅さのものを入れてください。堅いものを調理されますと、ブレードを破損する原因になり、ブレードの破片が食材に入ると、異物混入の原因になります。

1. 専用コンセントに電源プラグ(プラグアダプター付)を差し込んでください



2. 本機の電源スイッチを「ON(入)」にしてください

アラーム音が「ピーッ」と鳴ります。



約20秒後、タッチパネルにホーム画面が表示されます。



3. ご使用前に「お手入れ」(45ページ)を参照して、ブレードとビーカーガasketを洗浄、清掃してください

4. 本機にビーカーガasketとブレードが取り付けられていることを確認してください

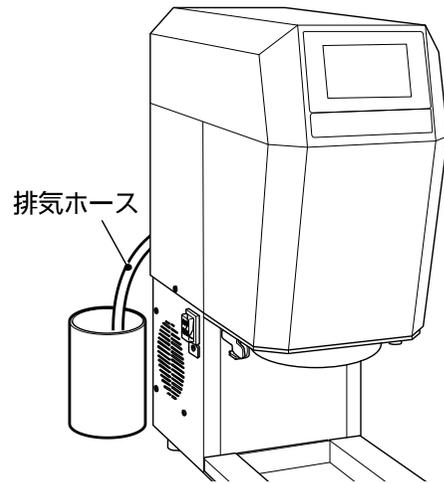
ビーカーガasket、ブレードが取り付けられていない場合は、「ビーカーガasketの取り付けかた」(44ページ)、「ブレードの取り付けかた」(39ページ)を参照して取り付けてください。

5. 本機背面の排気ホースの先をお手持ちの容器に刺し込んでください

本機背面の排気ホースからは、調理終了後、または調理中にビーカー内の空気が排出されます。

排出の際、空気圧によりビーカー内の少量の液体と一緒に排出されるためお手持ちの容器で受けてください。

排出される液体により周囲を濡らす、または汚す原因になります。



6. ビーカーに、材料を入れください

お願い

ビーカーに入れる食材は、包丁で容易に切ることができる堅さのものを入れてください。生のカボチャ、生のさつまいものような堅いものを調理されると、ブレードを破損する原因になり、ブレードの破片が食材に入ると、異物混入の原因になります。

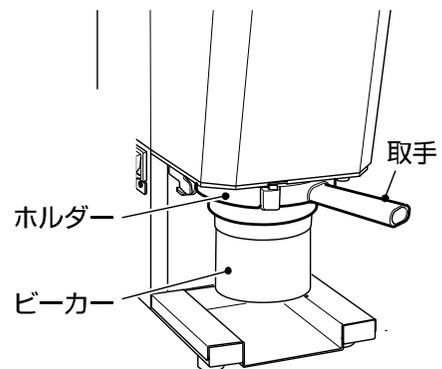
7. ビーカーにホルダーをセットしてください

8. ホルダー（ビーカーをセットした状態）を本機に取り付けてください

本機のホルダー取付け部の真下に、本機を正面から見てホルダーの取手が右に約20° 向くようにして持ってください。

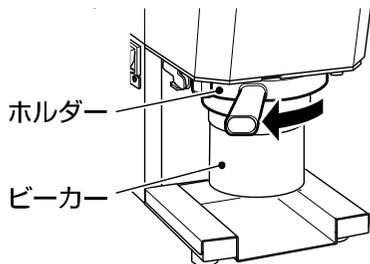
ホルダーを本機のホルダー取付け部分に、下からまっすぐ持ち上げて、しっかりとはめ込んでください。

ビーカーを垂直にし、ホルダーのふちを本機のホルダー取付け部にはめ込んでください。



ホルダーの取手を左方向に止まる（本機を正面から見て約45°）ところまで、しっかり回してください。

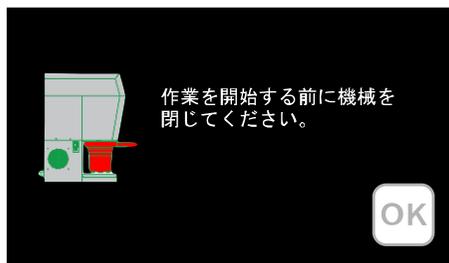
ホルダーを回す際、少々固い場合がありますが、これは密閉するためで故障ではありません。



お願い

ホルダーは、正しくしっかりと取り付けてください。

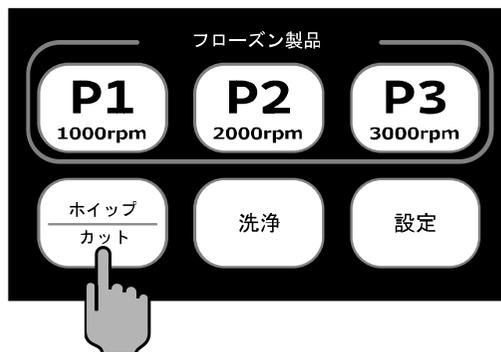
ホルダーが、正しくしっかりと取り付けられていないと、『START』アイコンをタッチしても、「作業を開始する前に機械を閉じてください。」の画面が表示され、粉碎調理は開始しません。



9. ホイップの設定画面を表示させてください

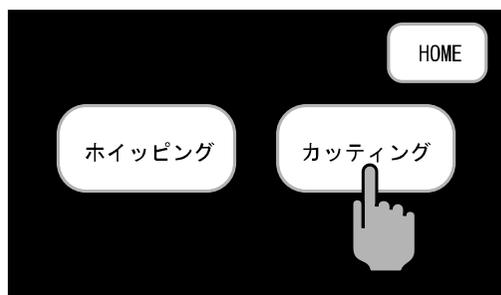
『ホイップ / カット』アイコンをタッチしてください。

選択画面が表示されます。



『カッティング』アイコンをタッチしてください。

設定画面が表示されます。



10. 食材の仕上がり、調理の繰り返し回数、ビーカー内圧力を選択、設定してください

食材の仕上がりの設定をしてください

各食材の仕上がりの設定アイコンは以下のとおりです。

『粗い』アイコン：
粗い刻み

『普通』アイコン：
標準的な刻み

『細かい』アイコン：
細かい刻み



粉碎調理の繰り返し回数を設定してください

繰り返し回数の設定範囲は、1～10回になります。

初期設定：1回



調理の繰り返し回数の設定

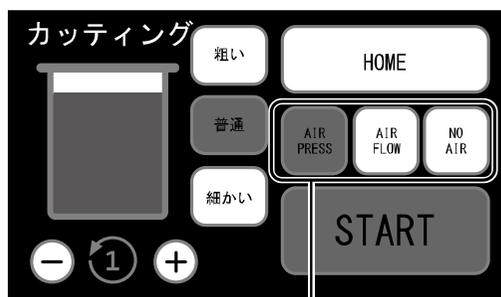
調理中にビーカー内空気圧をかける設定をしてください

各空気圧の設定アイコンは以下のとおりです。

『AIR PRESS』アイコン：
空気を吸い込みながら、しっかりと材料に空気圧をかけます。調理中、外部の空気を吸い込みますが、循環させないため材料の温度はあまり上がりません。

『AIR FLOW』アイコン：
空気を吸い込みながら、材料に空気を含ませます。調理中、外部の空気を吸い込み循環するため材料の温度はあがります。

『NO AIR』アイコン：
空気を吸い込みません。調理中、材料の温度はあまり上がりません。



空気圧をかける設定

11. 『START』アイコンをタッチして調理をおこなってください

調理が開始されます。

メモ

調理を途中で止めたい場合は、『STOP』アイコンをタッチしてください。

『STOP』アイコンをタッチして調理を途中で止めた場合、ブレードが元の位置に戻って停止するまで待ってください。



画面のビーカーの図は、ビーカー内の調理状態を表しています。

「↓」と「↑」は、ブレードが降下、または上昇していることを表します。

「↓」の場合……ブレードの降下

「↑」の場合……ブレードの上昇



ブレードは、下まで降りると上昇します。

画面左下の値は、繰り返し回数の表示で、現在何回目かを表しています。

調理が終わると、ブレードは待機位置まで戻ります。

ブレードが待機位置に戻り、「残り時間」が「0」になるまで待ってください。



画面には、右図のように表示されます。



お願い

ブレードが待機位置に戻って完全に停止するまで、ホルダーを取り外したり、電源スイッチを「OFF(切)」にしたりしないでください。

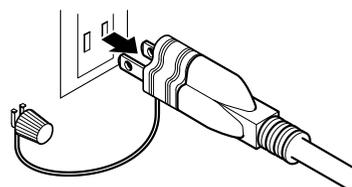
ビーカー内の食材が飛び散ったり、ブレードやビーカーが破損したり、または機械の故障の原因になります。

12. 電源スイッチを「OFF(切)」にして、コンセントから電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いてください

⚠ 警告



調理の終了後は、電源スイッチを「OFF(切)」にして、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜くこと
誤って『START』アイコンに触れた場合、ケガをする恐れがあります。



13. ホルダー（ビーカーごと）を本体から取り外してください

ホルダーの取手を持って、反時計方向に右方向に止まる場所まで回し、ホルダーを下方向にゆっくり降ろしてください。

14. ビーカーからホルダーを取り外してください

15. ビーカーから調理された材料を取り出してください

お手持ちのスプーンなどを用いて、ビーカーから調理された材料を取り出してください。

16. 使用後、ブレードとビーカーガasket、空になったビーカーは、速やかに洗淨してください

洗淨方法については、「お手入れ」（45ページ）を参照してください。

⚠ 注意



粉碎調理終了後および、粉碎調理後から、次の粉碎調理までの時間が空くときは、「自動洗淨」機能を使った除菌洗淨をすること
洗淨しないと付着した食材に雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

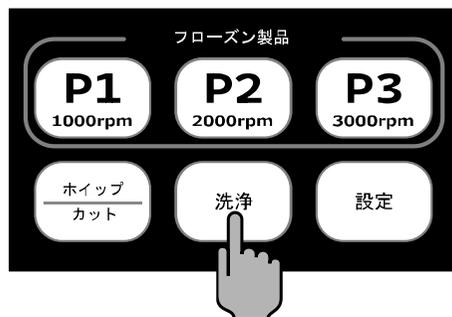
ブレードとビーカーガasketの取り外しと、取り付けについて

ブレードとビーカーガasketは、取り外すことができます。

ブレードとビーカーガasketの洗浄や交換をおこなう際、以下の手順を参考にブレードやビーカーガasketの取り外し、または取り付けをおこなってください。

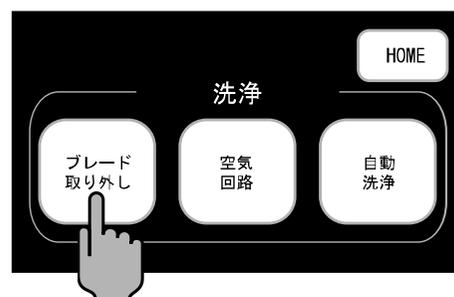
ブレードの取り外しかたと、取り付けかた ブレードの取り外しかた

1. 『洗浄』アイコンをタッチしてください
選択画面が表示されます。

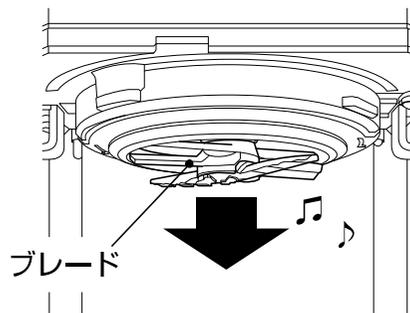
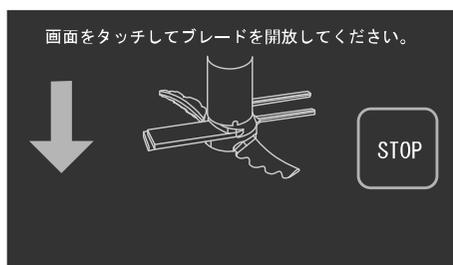
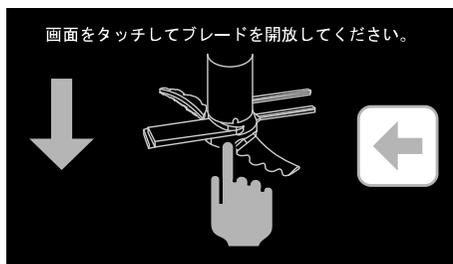


2. 『ブレード取り外し』アイコンをタッチしてください

「画面をタッチしてブレードを開放してください。」の画面が表示されます。

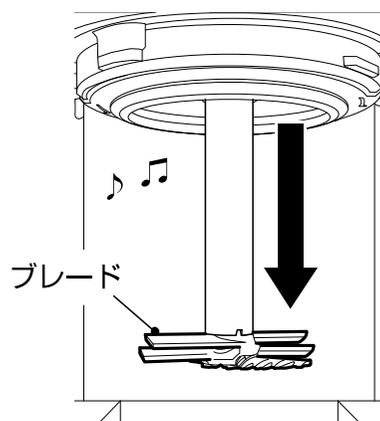


3. 画面を1回タッチしてブレードを下降させてください

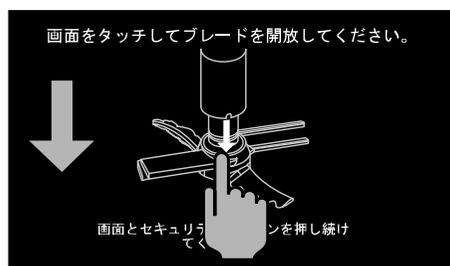
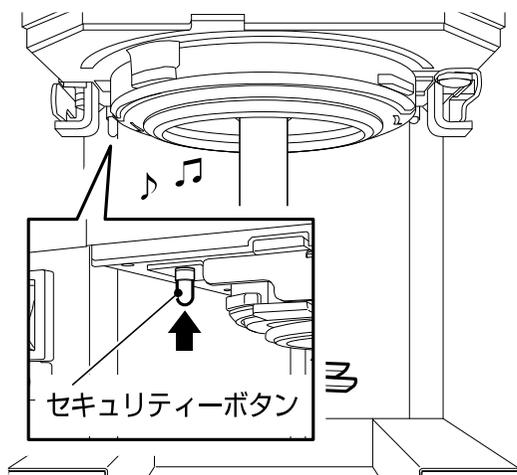


完全に止まる位置までブレードが下降します。
『STOP』アイコンをタッチすると、ブレードの下降が止まります。

ブレードが、完全に止まる位置まで下降すると、画面下に「画面とセキュリティーボタンを押し続けてください。」が表示されます。

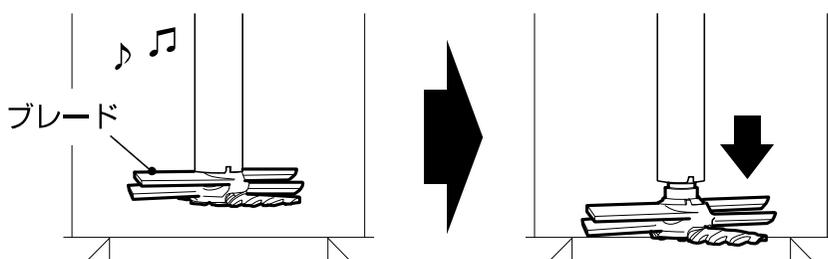


4. 『セキュリティーボタン』を押しながら、画面をタッチし続けてください



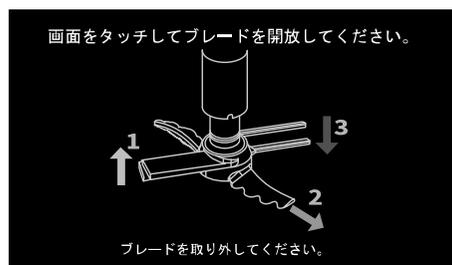
画面をタッチし続ける

ブレードが取り付けられている先端部分が下降します。
完全に止まる位置までブレードが下降するのを待ってください。



ブレードの降下が止まる位置に到達すると、画面下に「ブレードを取り外してください。」が表示されます。

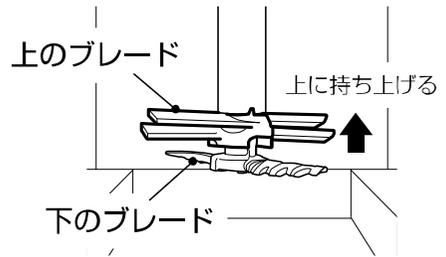
画面と『セキュリティーボタン』から指を離してください。



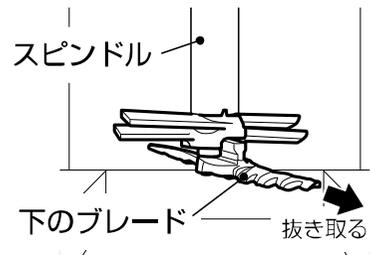
5. ブレードをスピンドルから取り外してください

ブレードは、上下2つの部品で構成されています。

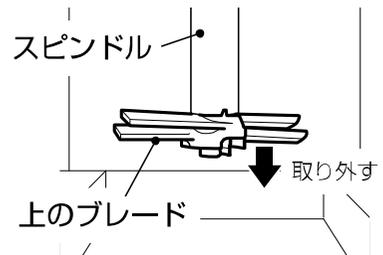
手で上のブレードを上を持ち上げてください。



手で下のブレードを横にスライドして、スピンドルから抜き取ってください。



上のブレードは、下に降ろしてスピンドルから取り外してください。



メモ

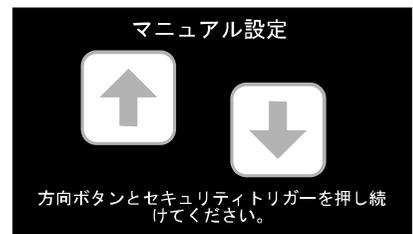
ブレードの取り付け、取り外しの操作中や、作業中に本機の電源スイッチを「OFF(切)」にした場合、または停電などで電気の供給がされなくなった場合の対応

電源スイッチを「OFF(切)」にした場合は、電源スイッチを「ON(入)」にしてください。停電などで電気の供給がされなくなった場合は、電気が供給されるのを待ってください。本機が「ON(入)」の状態になると、「マニュアル設定」の画面が表示されます。

『セキュリティボタン』を押しながら、『↑』または『↓』アイコンをタッチし続けてください。

『↑』をタッチし続けた場合は、ブレードが上昇して待機位置まで戻ります。

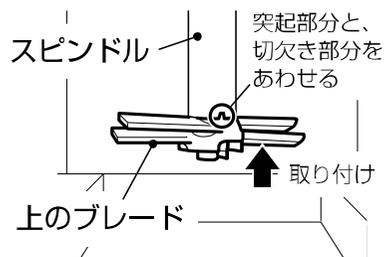
『↓』をタッチし続けた場合は、ブレードが取り外せる位置まで下降します。



ブレードの取り付けかた

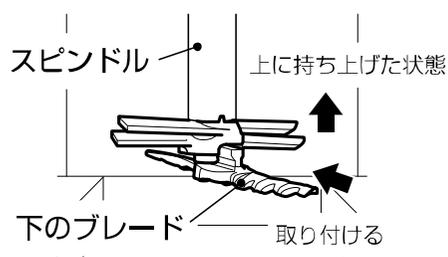
1. スピンドルにブレードを取り付けてください

上のブレードの突起部分と、スピンドルの切欠き部分をあうように取り付けてください。



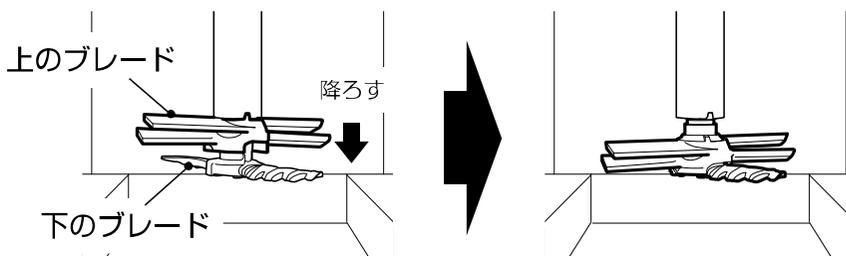
手で上のブレードを上方向に持ち上げて、持ち上げた状態のまま、下のブレードをスピンドルの先端に取り付けてください。

下のブレードは、横にスライドして、スピンドルに取り付けてください。



上のブレードを降ろしてください。

上のブレードの形状と、下のブレードの形状が噛み合っていることを確認してください。



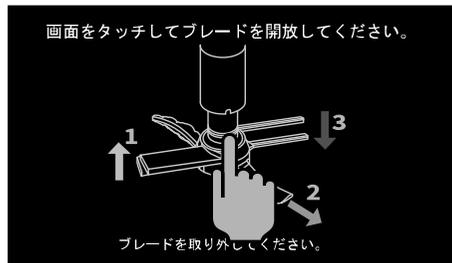
お願い

下のブレードと上のブレードが、正しく取り付けられていることを確認してください。

上のブレードと、下のブレードが正しく取り付けられていないと、故障の原因になります。

2. 画面下に「ブレードを取り外してください。」が表示されている状態で、画面を2回タッチしてください

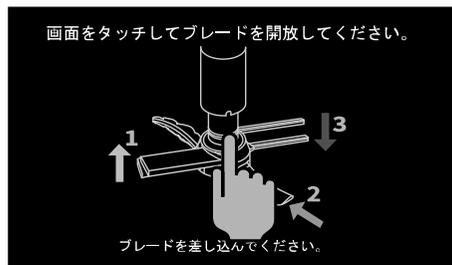
画面下に「ブレードを差し込んでください。」が表示されます。



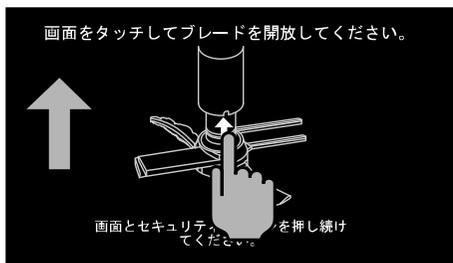
画面を2回タッチ

3. 画面を1回タッチしてください

画面下に「画面とセキュリティーボタンを押し続けてください。」が表示されます。

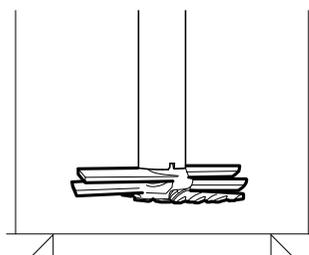
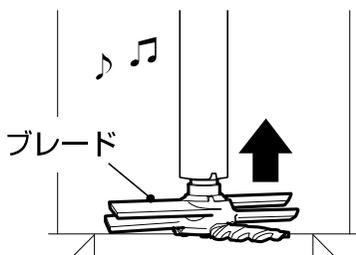
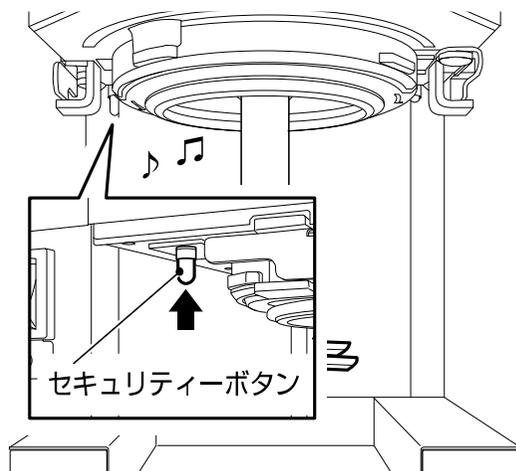


4. 画面をタッチしながら、『セキュリティーボタン』を押し続けてください



画面をタッチしながら…

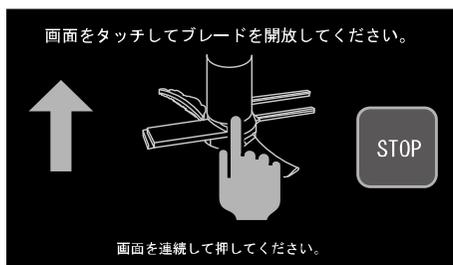
画面をタッチし続けている間、ブレードが取り付けられたスピンドルの先端部分が上昇します。
止まる位置までブレードを上昇させてください。



ブレードの上昇が止まる位置に到達すると、画面下に「画面を押し続けてください。」が表示されます。

画面と『セキュリティボタン』から指を離してください。

5. 再度、画面をタッチし続けてください

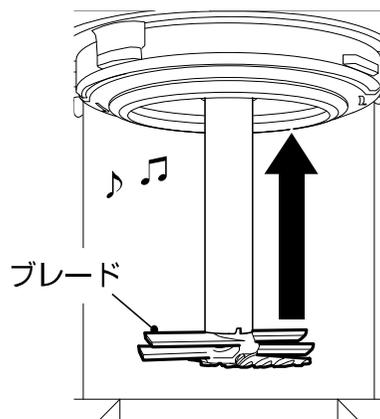


画面をタッチし続けている間、ブレードが上昇します。

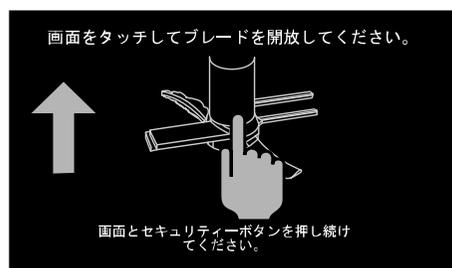
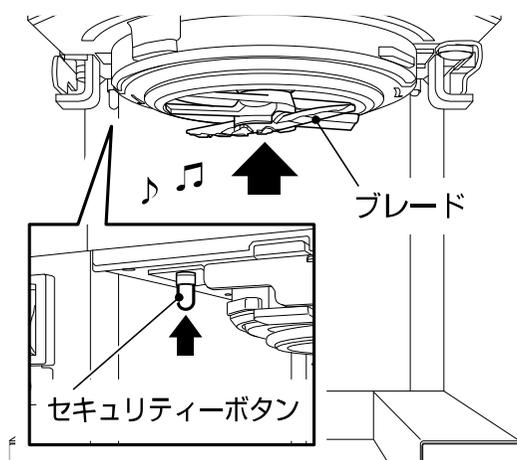
完全に止まる位置までブレードを上昇させてください。

ブレードの上昇が止まる位置に到達すると、画面下に「画面とセキュリティボタンを押し続けてください。」が表示されます。

画面から指を離してください。



6. 『セキュリティボタン』を押しながら、画面をタッチし続けてください



画面をタッチし続ける

画面と『セキュリティボタン』をタッチし続けている間、さらにブレードが上昇します。

ブレードが待機位置まで戻ると、機械は停止します。

画面には、「洗浄」の選択画面が表示されます。
画面と『セキュリティーボタン』から指を離してください。



ビーカーガasketの取り外しかたと、取り付けかた

ビーカーガasketの取り外しかた

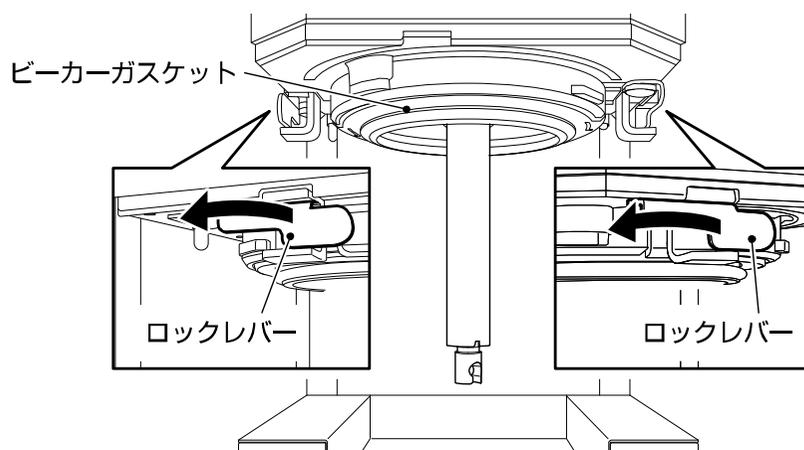
お願い

ビーカーガasketを取り外す場合、先に2個のブレードを取り外しておいてください。
本機にブレードが取り付けられている状態では、ビーカーガasketを取り外すことはできません。
ブレードを取り外すには「ブレードの取り外しかた」（36ページ）を参照して、ブレードを取り外してください。

1. ビーカーガasketの左右にあるロックレバーのロックを解除してください

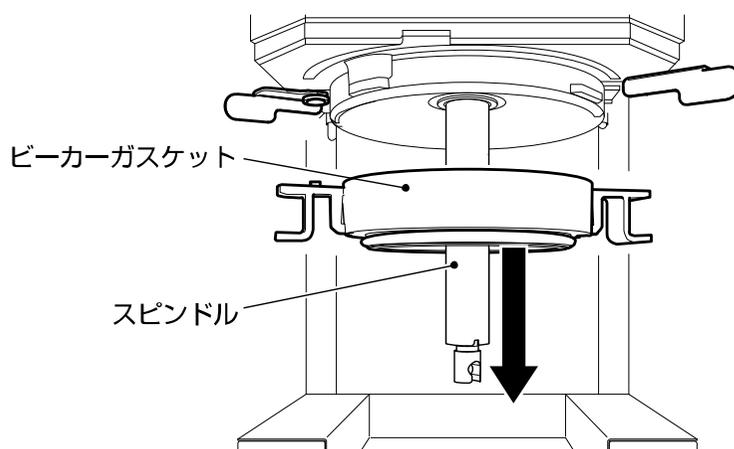
右のロックレバーは手前側に、左のロックレバーは奥側に開いてください。

ビーカーガasketが取り外せるようになります。



2. ビーカーガasketは下方向に抜き取ってください

降下しているスピンドルの先端から抜いて取り外してください。



ビーカーガasketの取り付けかた

お願い

取り外したビーカーガasketは、本機のご使用前に必ず取り付けておいてください。
ビーカーガasketが取り付けられていないと、調理をおこなうことはできません。

ビーカーガasketを取り付けるまで、ブレードをスピンドルに取り付けしないでください。
ブレードが本機に取り付けられた状態では、ビーカーガasketを取り付けることはできません。

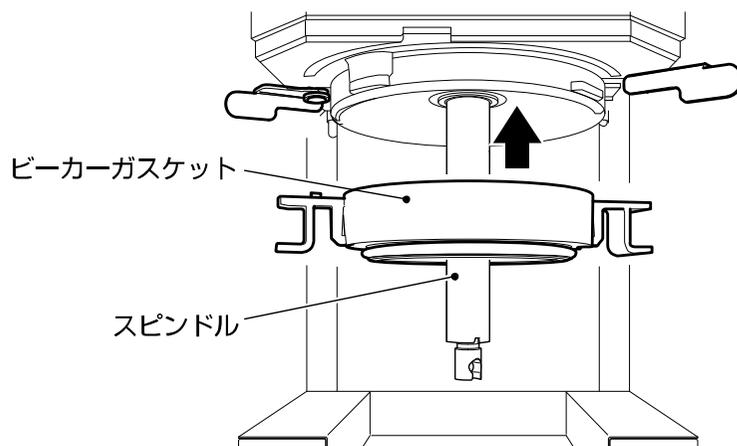
1. ビーカーガasketを本機に取り付けてください

降下しているスピンドルの先端からビーカーガasketをはめてください。

ビーカーガasketは上下を間違えないようにしてください。

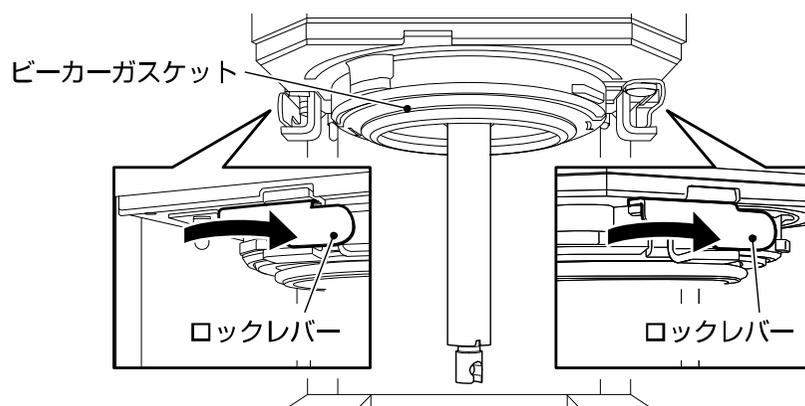
本機の切欠き部分にビーカーガasketの左右の突起部分をはめ込んでください。

ビーカーガasketは、手でしっかりと本機にはめ込んでください。



2. ビーカーガasketの左右を本機側のロックレバーでロックしてください

右のロックレバーは奥側に、左のロックレバーは手前側に向けて、しっかりとロックしてください。



お手入れ

いつも清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、次の場合、必ず「お手入れ」をおこなってください

⚠ 警告



本体に直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 注意



「自動洗浄」機能を使った洗浄以外の清掃や点検のときは、必ず電源スイッチを「OFF(切)」にして、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜くこと
誤って『START』アイコンに触れた場合、機械が作動してケガの原因になります。
漏電、ショート、感電の原因になります。

お願い

ホルダーおよびピーカーガセット、パッキンを洗浄するときは、食器洗浄機などは使用せずに 80℃ 以下のお湯で洗浄してください。

高温洗浄すると樹脂部品が変形したり、変色する恐れがあります。

洗浄や清掃をするときは、かたいタワシなどでこすらないでください。

傷がつく恐れがあります。

清掃をするとき、クレンザー、酸類、アルカリ性洗剤、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。

傷が付いたり、破損したりする原因になります。

気泡性、強力な浸食性、有毒性のある洗浄剤は絶対に使用しないでください。

やむを得ず、塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などを使用して洗浄をおこなう場合は、漬け置きしないで洗浄してください。

洗浄後は、十分すすいでから速やかに水気を切り、完全に乾燥させてください。

塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などに、漬け置きますと、錆および腐食の原因になります。

除菌洗浄をおこなうときは F M I 除菌洗浄剤を使用し、入れすぎないようにしてください。

F M I 除菌洗浄剤の使用量の目安は、1 L の温水または水に対して 2 g を入れてください。

濃度が濃すぎると金属、プラスチック、ゴムの部品を損傷します。

F M I 除菌洗浄剤がなくなりましたら、弊社(株式会社 エフ・エム・アイ)または納入代理店へご連絡ください。

ブレードは、比較的錆びにくい材質ですが、錆を防ぐため洗った後は、水分を拭き取り、完全に乾燥させてください。

しばらく使用しないときは、食用油を薄く塗布しておいてください。

食用油を塗布した場合は、次の使用前にペーパータオルなどで拭き取ってください。

アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法および、使用上の注意事項に従ってください。

ブレード、ビーカー、ビーカーガasket、スピンドルの除菌洗浄

毎日の終業後、ブレード、ビーカー、ビーカーガasket、スピンドルを除菌洗浄してください。

1. 温水または水で、ビーカーをすすぎ洗いしてください
2. 本機背面の排気ホースの先をお手持ちの容器に刺し込んでください
3. 温水または水をビーカーに入れて本機にセットし、予備洗浄をおこなってください

ホーム画面から

『洗浄』アイコンをタッチ
→ 『自動洗浄』アイコンをタッチ
→ 『ブレード洗浄 (急ぎ)』アイコンをタッチしてください。

『START』アイコンをタッチしてすすぎ洗浄をおこなってください。

予備洗浄完了後、本機からビーカーを取り外して中の水を捨ててください。



4. 定められた量の除菌洗浄剤と温水または水をビーカーに入れて本機にセットし、洗浄をおこなってください

ビーカーに温水または水を約800mLと、F M I 除菌洗浄剤を1.6g入れてください。



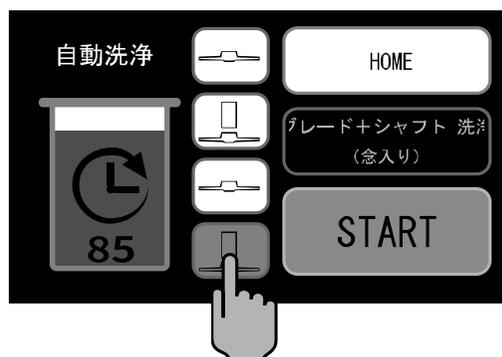
F M I 除菌洗浄剤の使用量の目安は、1Lの温水または水に対して2gになります。

ホーム画面から

『洗浄』アイコンをタッチ
→ 『自動洗浄』アイコンをタッチ
→ 『ブレード + シャフト 洗浄 (念入り)』アイコンをタッチしてください。

『START』アイコンをタッチして除菌洗浄をおこなってください。

除菌洗浄完了後、本機からビーカーを取り外して中の洗浄水を捨ててください。



5. 温水または水をビーカーに入れて本機にセットし、すすぎ洗浄をおこなってください（2回）

ホーム画面から

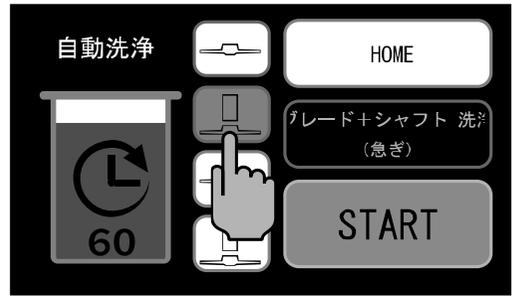
『洗浄』アイコンをタッチ

→ 『自動洗浄』アイコンをタッチ

→ 『ブレード + シャフト 洗浄（急ぎ）』

アイコンをタッチしてください。

『START』アイコンをタッチしてすすぎ洗浄をおこなってください。



1回目のすすぎ洗浄が終わりましたら、中の水を捨てて、温水または水をビーカーに入れて本機にセットし、もう1度すすぎ洗浄をおこなってください。

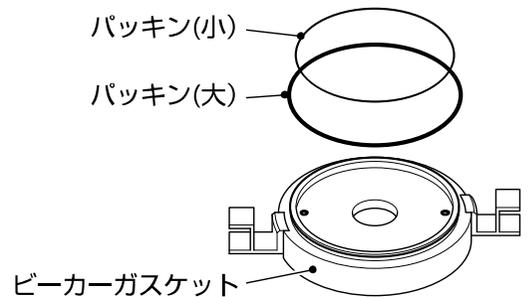
すすぎ洗浄完了後、本機からビーカーを取り外して中の水を捨ててください。

6. 本機から各部品を取り外して、除菌洗浄剤で洗浄してください

「ブレードの取り外しかた」（36ページ）を参照して、本機から2種類のブレードを取り外してください。

「ビーカーガasketの取り外しかた」（43ページ）を参照して、本機からビーカーガasketを取り外してください。

ビーカーガasketの下側に取り付けられている、茶色のパッキン(大)とパッキン(小)を取り外してください。

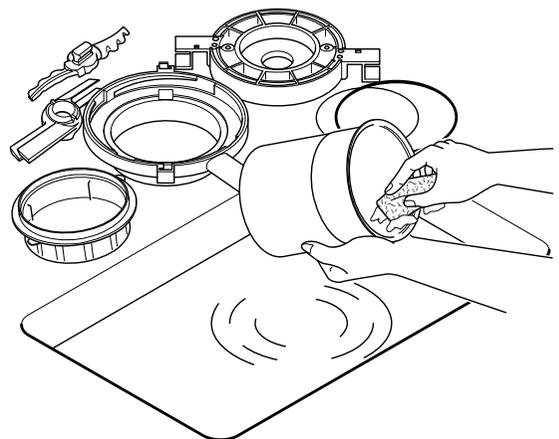


コンテナやシンクに、ぬるま湯を入れ、定められた使用濃度の分量の除菌洗浄剤を入れて溶かしてください。

×モ

FM I 除菌洗浄剤の使用量の目安は、1Lの温水または水に対して2gになります。

除菌洗浄剤を溶かしたぬるま湯で、布かスポンジを用いて、ビーカー、ホルダー、各ブレード、ビーカーガasket、各パッキンをきれいに洗浄してください。



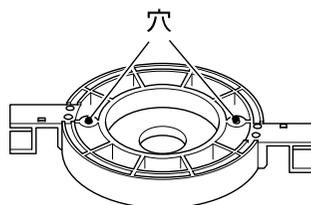
付属の洗浄用ブラシ 太を使って各部品を洗浄してください。

洗浄用ブラシ 太



洗浄用ブラシ 細は、ビーカーガスケットの穴(空気吸込み、排出用)を洗浄するときに使用してください。

洗浄用ブラシ 細



お願い

各部品は、かたいタワシなどでこすらないでください。

傷がつく恐れがあります。

金属の部品の洗浄は、速やかにおこない、洗浄液や水、湯に漬けたままにしないでください。
漬け置きをしますと、金重部品が錆びる原因になります。

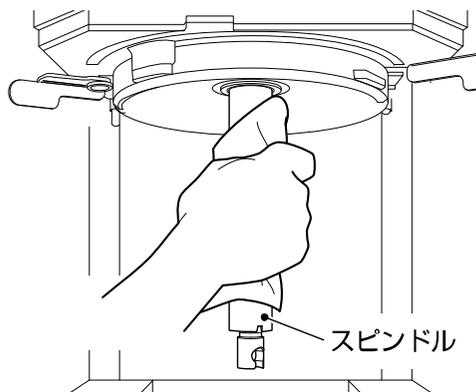
除菌洗浄後は、水や温水ですすぎ洗いして洗剤成分をきれいに落としてください。

乾いたきれいな布で、各部品に付着した水分をきれいに拭き取ってから空気乾燥させてください。

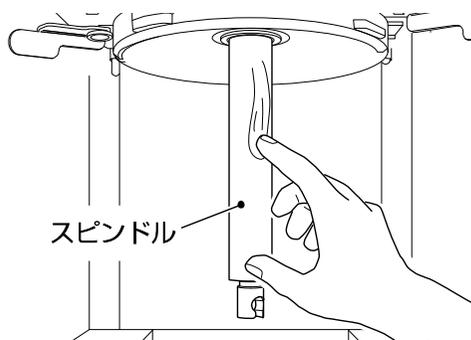
除菌洗浄剤の希釈液を染み込ませた布かスポンジで、本機のスピンドルを拭いてください。

きれいな水を染み込ませて硬く絞った布で、スピンドルに付着した洗剤成分を完全に拭き取ってください。

乾いたきれいな布で、スピンドルに付着した水分をきれいに拭き取ってから空気乾燥させてください。



スピンドル全体に、付属のグリスを塗布してください。



7. 本機にビーカーガスカートと各ブレードを取り付けてください

ビーカーガスカートに茶色のパッキン(大)とパッキン(小)を取り付けてください。

先にパッキン(小)を取り付けてからパッキン(大)を取り付けてください。

「ビーカーガスカートの取り付けかた」(44ページ)を参照して、本機にビーカーガスカートを取り付けてください。

「ブレードの取り付けかた」(39ページ)を参照して、本機に2種類のブレードを取り付けてください。

お願い

劣化している、または割れている部品は使用しないでください。

食材に破片などが入りますと、異物混入の原因になります。

8. 本機の電源スイッチを「OFF(切)」にして、コンセントから電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いてください

本機背面の排気ホースの先を刺し込んでいた容器は洗浄してください。

ブレード、ビーカーガasket、スピンドルのすすぎ洗浄

各調理終了後、ブレード、ビーカーガasket、スピンドルに付着した食材などは、以下の方法ですすぎ洗浄してください。

1. 温水または水で、ビーカーをすすぎ洗いしてください
2. 温水または水をビーカーに入れて本機に取り付けてください
3. 本機背面の排気ホースの先をお手持ちの容器に刺し込んでください
4. 「自動洗浄」の画面を表示させてください

ホーム画面から

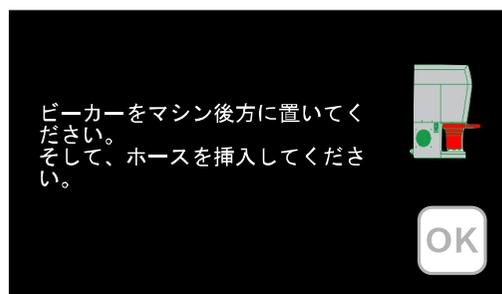
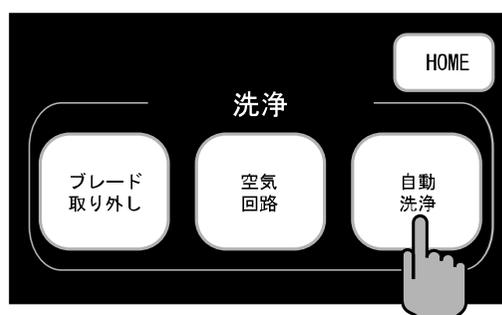
『洗浄』アイコンをタッチ
→ 『自動洗浄』アイコンをタッチしてください。

「ビーカーをマシン後方に置いてください。そして、ホースを挿入してください。」の画面が表示されます。

本機背面の排気ホースの先をお手持ちの容器に刺し込んでください。

『OK』アイコンをタッチしてください。

「自動洗浄」の画面が表示されます。



5. すすぎ洗浄をおこなってください (2回)

『ブレード洗浄 (急ぎ)』アイコンをタッチしてください。

『START』アイコンをタッチしてすすぎ洗浄をおこなってください。



1回目のすすぎ洗浄が終わりましたら、中の水を捨てて、温水または水をビーカーに入れて本機にセットし、もう1度すすぎ洗浄をおこなってください。

すすぎ洗浄完了後、本機からビーカーを取り外して中の水を捨ててください。

6. 『HOME』アイコンをタッチしてください

ホーム画面に戻ります。



7. ホルダー（ビーカーごと）を本機から取り外して、ビーカー内の水を捨ててください

乾いたきれいな布で、ビーカーに付着した水分をきれいに拭き取ってください。

本機背面の排気ホースの先を刺し込んでいた容器を洗浄してください。

排気ホースと本機内部の排気管内のお手入れ

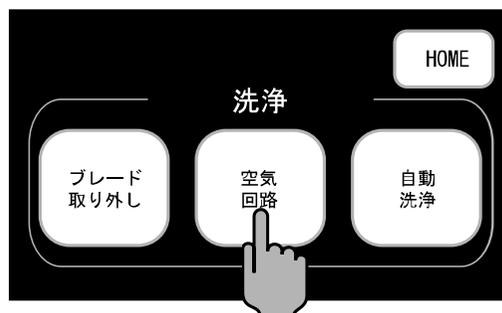
排気ホースと本機内部の排気管内に食材が詰まると、調理中、食材に空気圧をかけたり、空気を含ませたりすることが正常にできなくなります。

1. 空のビーカーにホルダーを取り付けて、本機にセットしてください

2. 機械内部の電磁弁を開いてください

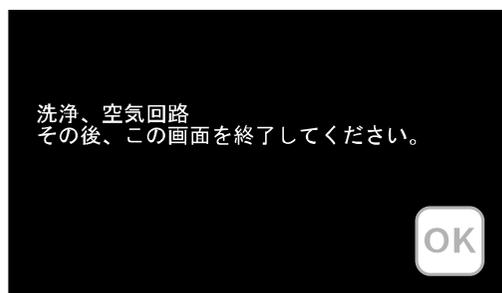
ホーム画面から
『洗淨』アイコンをタッチ
→ 『空気回路』アイコンをタッチしてください。

本機内部の電磁弁が開きます。



本機内部の電磁弁が開き、「洗淨、空気回路 その後、この画面を終了してください。」の画面が表示されます。

内部から電磁弁が開く音が鳴ります。

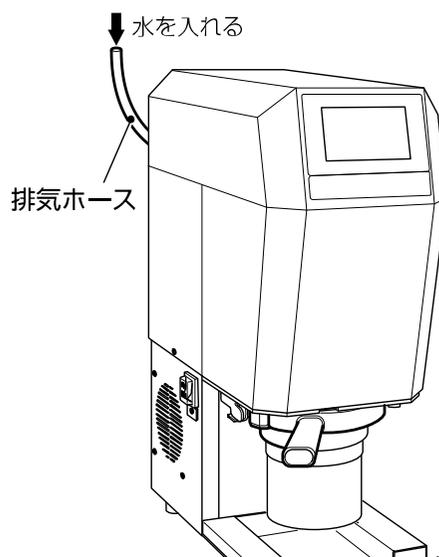


3. 排気ホースの先から水を入れて排気管内をすすぎ洗淨してください

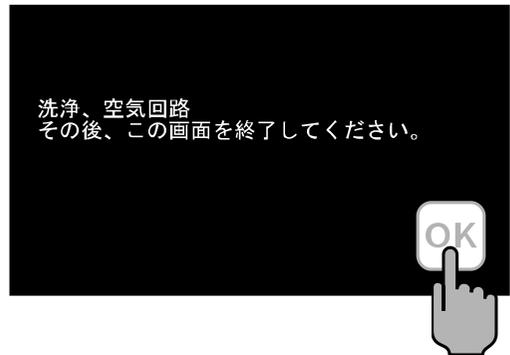
排気ホースの先を上に向けて、本機の背面にある排気口より高い位置まで持ち上げてください。

排水ホースの先から水を入れて、排気ホースや排気管内に残った食材などを洗い流してください。

水は、ビーカー内に溜まります。



4. 『OK』 アイコンをタッチして電磁弁を閉じてください



5. 『HOME』 アイコンをタッチしてホーム画面に戻ってください



6. ホルダー（ビーカーごと）を本機から取り外してください

ビーカー内に溜まった水を捨ててください。

7. 排気ホースの先は、中性洗剤などで洗ってください。

本体のお手入れ

⚠ 警告



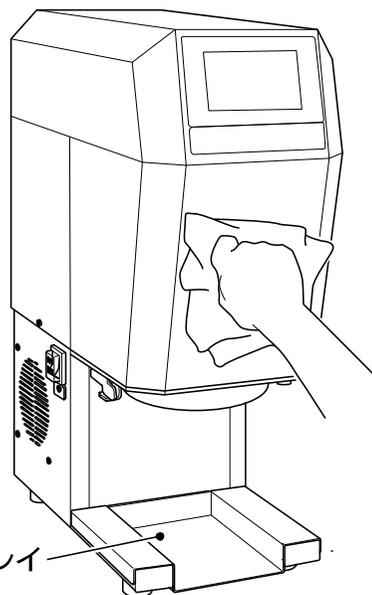
本体に直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

1. コンセントから、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いてください

2. 本体は、除菌洗浄剤を入れて溶かしたぬるま湯で布巾を絞り、付着した材料をきれいに拭き取ってください

3. すすぎ用のきれいな水で絞った布で拭いて、完全に洗剤成分を拭き取って空気乾燥させてください

4. アルコール除菌剤をしみ込ませた布で拭いて除菌をおこなってください



5. ドリップトレイは取り外して洗浄してください

ドリップトレイは、中性洗剤などで洗浄してください。

洗浄後、すすぎ洗いで洗剤成分を落とし、乾いた布などで付着した水分を拭き取ってください。

アルコール除菌剤をしみ込ませた布で拭いて除菌をおこなってください。

お願い

保管される場合は、乾燥した場所に保管してください。

フィルターのお手入れ

本機の右側面に取り付けられたフィルターにホコリなどが、多量に付着している場合は、本機からフィルターを取り外して、掃除機などでホコリを除去してください。

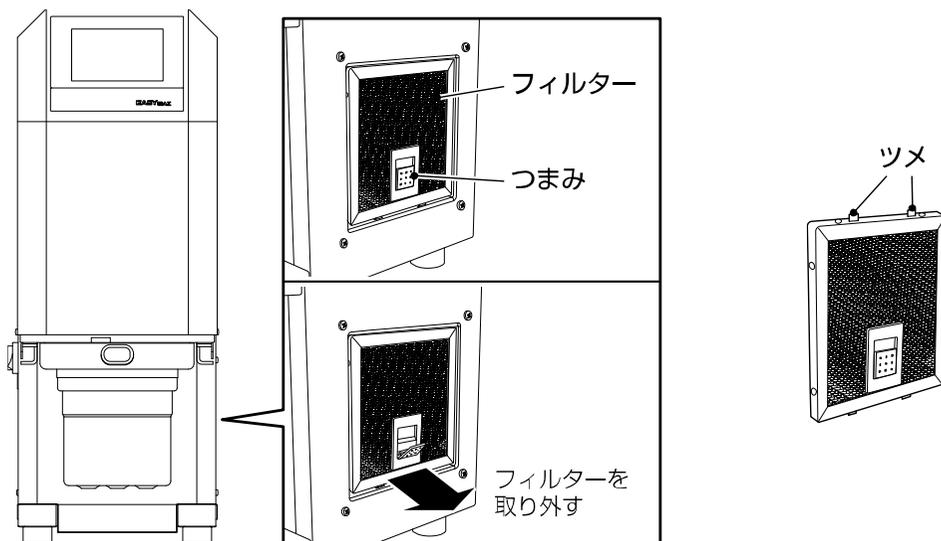
お願い

フィルターは、水や洗剤を使用して洗浄しないでください。

水分や洗剤成分が、残っていると、調理の際に食材に混入する原因になります。

フィルターを取外し

フィルターをつまみ部分を手前に引いてロックを解除し、取り外してください。



フィルターの取付け

フィルターの上側のツメを本機側のフィルターの取付け部の穴に、しっかり差し込んでから取り付けてください。

フィルターの交換時期

本機右側面に取り付けていますフィルターは、100時間のご使用ごとに新しいものと交換してください。

100時間ご使用していなくても、傷んでいる場合は、新しいものと交換してください。

ご使用の環境などで、フィルターに油分などが付着して汚れている場合は、新しいものと交換してください。

ビーカーガasketの分解洗浄（週1回）

最低でも1週間に1回は、ビーカーガasketから、ガasketシールプレート、スクレーパー、パッキンを取り外して洗浄してください。

お願い

ガasketシールプレートを固定しているネジを取り外すためのプラスドライバーは、お客様にて用意してください。

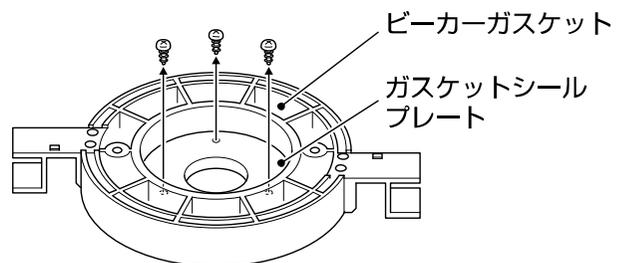
1. 本機からビーカーガasketを取り外してください

ビーカーガasketの取り外しかたについては、「ビーカーガasketの取り外しかた」（43ページ）を参照してください。

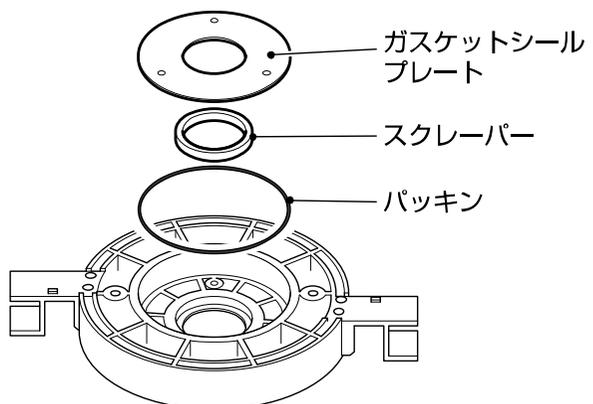
2. ビーカーガasketの上部にあるガasketシールプレートを固定している3本のネジを取り外してください

お願い

取り外したネジは、無くさないでください。



3. ビーカーガasketからガasketシールプレート、スクレーパー、パッキンを取り外してください



4. スクレーパー、パッキン、ガasketシールプレート、ビーカーガasketを除菌洗浄剤で洗浄してください

コンテナやシンクに、ぬるま湯を入れ、定められた使用濃度の分量の除菌洗浄剤を入れて溶かしてください。

メモ

FMI 除菌洗剤の使用量の目安は、1Lの温水または水に対して2gになります。

除菌洗剤を溶かしたぬるま湯で、布かスポンジ、付属のブラシを用いてきれいに洗浄してください。

お願い

各部品は、かたいタワシなどでこすらないでください。
傷がつく恐れがあります。

金属の部品の洗浄は、速やかにおこない、洗浄液や水、湯に漬けたままにしないでください。
漬け置きをしますと、金重部品が錆びる原因になります。

除菌洗浄後は、水や温水ですすぎ洗いして洗剤成分をきれいに落としてください。

乾いたきれいな布で、各部品に付着した水分をきれいに拭き取ってから空気乾燥させてください。

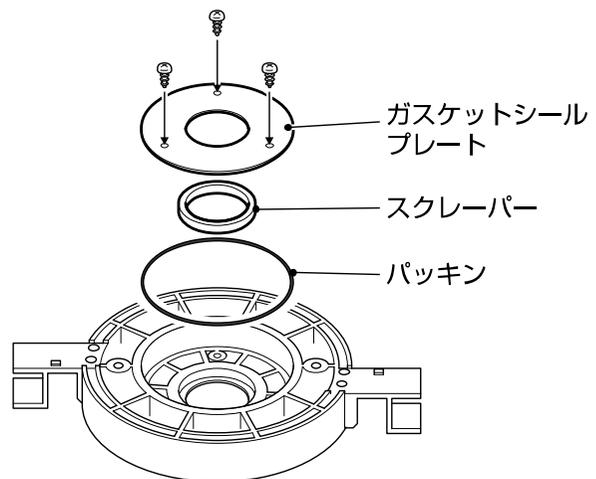
5. ビーカーガスケットにスクレーパー、パッキン、ガスケットシールプレートを取り付けてください

ビーカーガスケットに各部品を取り付けて、3本のネジでガスケットシールプレートをしっかり固定してください。

お願い

各部品は、必ず取り付けてください。

ガスケットシールプレートを固定するネジは、ゆるまなようにしっかりと締め付けてください。

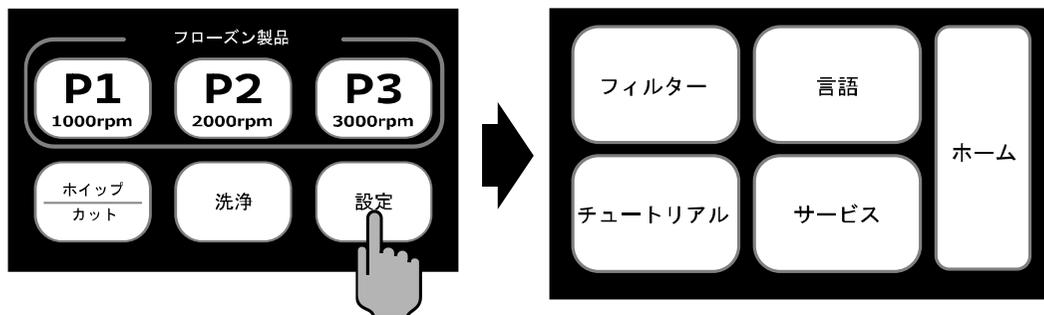


6. ビーカーガスケットを本機に取り付けてください

ビーカーガスケットの取り付けかたについては、「ビーカーガスケットの取り付けかた」(44ページ)を参照してください。

「設定」

ホーム画面で、『設定』アイコンをタッチしてください。
選択画面が表示されます。



「設定」の各項目の内容は以下のとおりです。

フィルター 59ページ	本機右側面に取り付けられているフィルターの使用時間を確認することができます。 フィルターの交換時期になると、フィルターの交換を促すメッセージが表示されます。
言語 60ページ	画面に表示される言語を切り替えることができます。
チュートリアル 61ページ	本機の概要と、操作方法の説明（簡易説明）をスライドで確認することができます。 表示される言語は、日本語に対応していません。
サービス 62ページ	本機のソフトウェア、ファームウェアのバージョンを確認することができます。 本機のソフトウェアを工場出荷時の状態に戻すことができます。 電源周波数を切り替えることができます。

「フィルター」

本機右側面に取り付けられているフィルターの使用時間を確認することができます。
フィルターの交換時期になると、フィルターの交換を促すメッセージが表示されます。

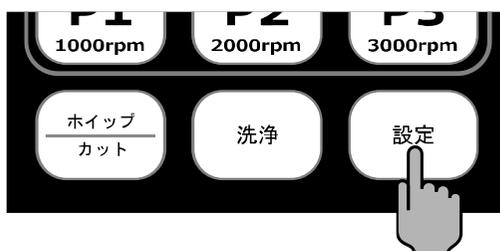
お願い

フィルターの交換を促すメッセージが表示されている場合は、フィルターを新しいものに交換してください。

フィルターの交換がされないままご使用になられますと、故障の原因になります。
新しいフィルターは、お買い上げ店にご注文ください。

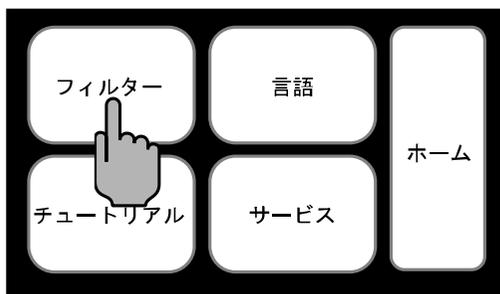
1. 『設定』アイコンをタッチしてください

選択画面が表示されます。



2. 『フィルター』アイコンをタッチしてください

フィルターの使用時間が表示されます。



フィルターの使用時間を確認してください。

新しいフィルターに交換した場合は、
『NEW』アイコンをタッチしてください。
フィルターの使用時間のカウントが0から
開始されます。



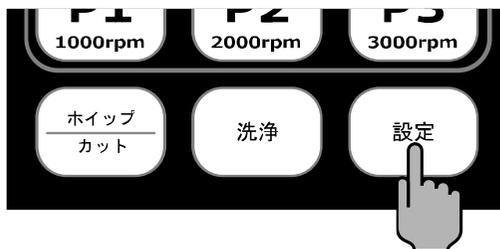
『←』アイコンをタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

「言語」

お好みで、画面に表示される言語を切り替えることができます。

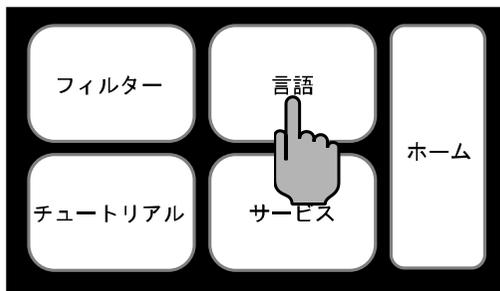
1. 『設定』アイコンをタッチしてください

選択画面が表示されます。



2. 『言語』アイコンをタッチしてください

選択画面が表示されます。



3. お好みの言語を選択してください



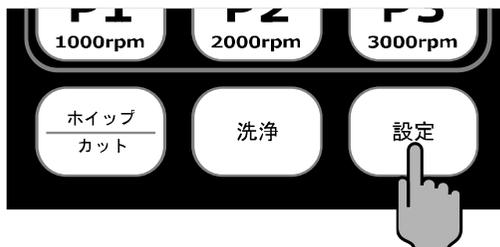
『←』アイコンをタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

「チュートリアル」

本機の概要と、操作方法の説明（簡易説明）をスライドで確認することができます。
表示される言語は、日本語に対応していません。

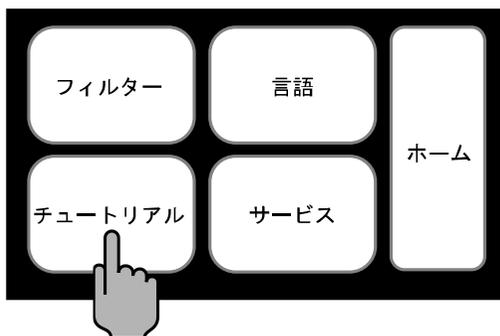
1. 『設定』アイコンをタッチしてください

選択画面が表示されます。



2. 『チュートリアル』アイコンをタッチしてください

選択画面が表示されます。



確認したい事項のアイコンをタッチしてください。

スライドで操作の説明が表示されます。



スライドを止める場合は、画面をタッチすると画面の右上に『×』アイコンが表示されるので『×』をタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

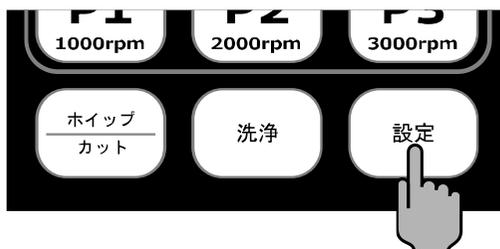
『←』アイコンをタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

「サービス」 (その他の確認事項と設定事項)

本機のソフトウェア、ファームウェアのバージョンを確認することができます。
本機のソフトウェアを工場出荷時の状態に戻すことができます。
本機を、据え付けた地域にあった電源周波数に切り替えることができます。

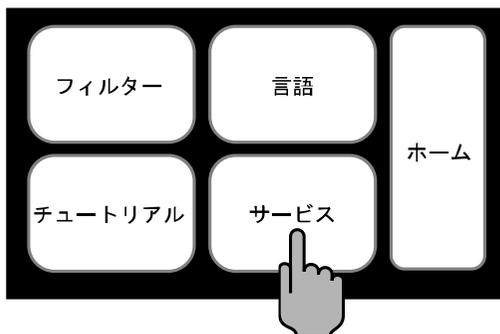
1. 『設定』 アイコンをタッチしてください

選択画面が表示されます。

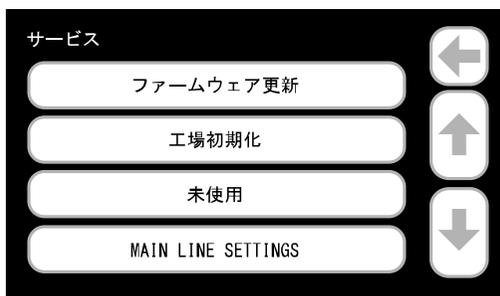
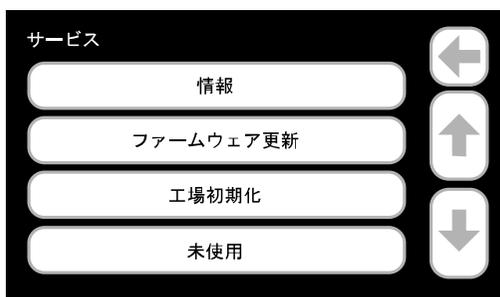


2. 『サービス』 アイコンをタッチしてください

選択画面が表示されます。



確認したい事項のアイコンをタッチしてください。

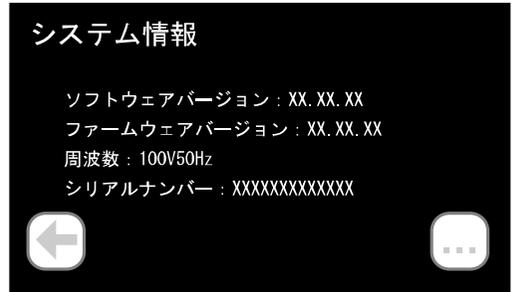


『←』アイコンはタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

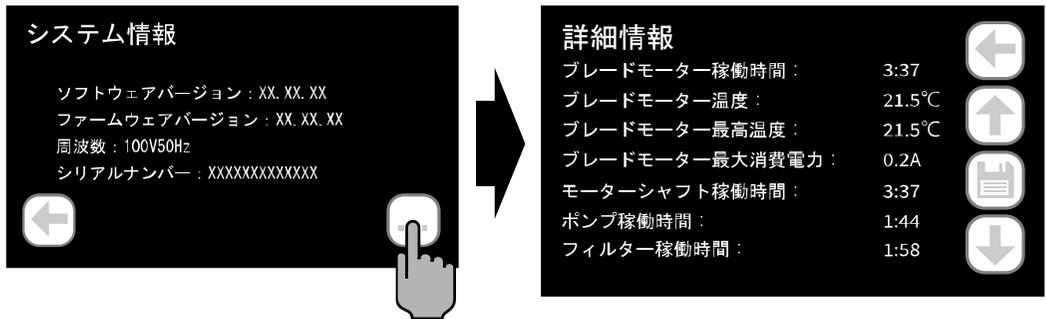
「情報」 (本機の情報)

本機の情報が表示されます。

ソフトウェアのバージョン、ファームウェアのバージョン、本機の電源周波数、本機のシリアルナンバーなど…



その他の情報を確認するには『…』アイコンをタッチして「詳細情報」の画面を表示してください。

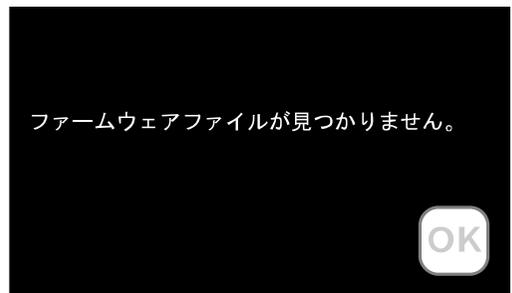


「ファームウェア更新」

ファームウェアの更新が必要なときに使用します。

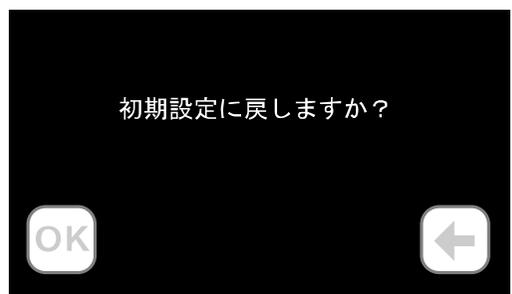
ファームウェアの更新については、お買い上げ店にご確認ください。

右の画面の図は、本機背面のUSBポートにUSBメモリが差し込まれていない、またはUSBメモリ内に専用のファームウェアのデータが入っていない場合の表示です。



「工場初期化」 (本機の設定を工場出荷時の状態に戻す)

『OK』アイコンをタッチすると、本機に設定されているお客様のすべての設定はリセットされ工場出荷時の状態になります。



「未使用」

使用しません。

Wi-fi アダプターが挿入されているか確認してください。
使用中

OK

「MAIN LINE SETTINGS」 (本機の電源周波数の切り替え)

本機を、据え付けた地域にあった電源周波数に切り替えることができます。

MAIN LINE SETTINGS

50 60 Hz



故障の診断と手当

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機の電源スイッチを「OFF(切)」にして機械を止め、コンセントから電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いて、早急にお買上げ店へ連絡してください。

ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、お買上げ日、状況(できるだけ詳しく)をお知らせください。

状 態	確認 / 症状	手 当
電源スイッチを「ON(入)」にしてもディスプレイに何も表示されない	設備側の専用コンセントに電源プラグ(プラグアダプター付)が差し込まれていない。	専用コンセントに電源プラグ(プラグアダプター付)を差し込んでください。
	停電。	通電するのを待ってください。
調理中に機械が停止し、「ERROR 8 Description E8」が表示された	ヒューズが切れた。	電源スイッチを「OFF(切)」にし、本機背面にあるヒューズホルダーを取り外して、新しいヒューズに交換してください。 お買上げ時は、予備のヒューズ1個を付属しています。
調理中に機械が停止し、「作業を開始する前に機械を閉じてください。」が表示された	ビーカー、またはホルダーが正しく取り付けられていない。	ビーカーと、ホルダーは、正しく取り付け、ください。
粉砕調理中に機械が停止し、「1以上のポーション数を選択してください。」が表示された	ポーション数が設定されていない。	設定画面に戻って、ポーション数を設定してください。
粉砕調理中に機械が停止し、「TOO MUCH PRODUCT.」が表示された	ビーカー内の材料(液体+ 食材)の量が、最高レベル線を超えている。	『YES』アイコンをタッチすると、最高レベル線を超えた部分の材料(液体+ 食材)+設定したポーション数を粉砕調理します。 『NO』アイコンをタッチするか、その画面のまま約10秒経過すると、最高レベル線を超えた部分の材料(液体+ 食材)だけを粉砕調理します。
粉砕調理中に、ビーカー内の圧力が十分に上がらない	ビーカーガasketにパッキン(大)や(小)が取り付けられていない。	ビーカーガasketにパッキン(大)と(小)が取り付けられているか確認してください。
	ビーカーガasketのパッキンに亀裂やキズなどがいないか確認する。	亀裂やキズなどがあれば、パッキンを新しいものと交換してください。
	本機の右側にある空気吸込み口が何かで塞がれている。	空気吸込み口を塞いでいるものを除去してください。

状 態	確認 / 症状	手 当
粉碎調理中に、ビーカー内の圧力が十分に上がらない	空気吸込み口に取り付けているフィルターにほこりなどが大量についている。	フィルターを取り外して、付着したホコリなどを掃除機などで取り除いてください。
	空気吸込み口に取り付けているフィルターに油分などが付着して汚れている。	フィルターを新しいものと交換してください。
漏電遮断器が切れる	漏電遮断器のレバーの位置が「OFF(切)」になっていませんか？	漏電遮断器が「OFF(切)」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。 レバーが「OFF(切)」になっていると漏電している可能性があります。 無理にレバーを「ON(入)」にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードやプラグが異常に熱くなる	—	お買上げ店へ連絡してください。
電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする	—	お買上げ店へ連絡してください。
モーターの回転が不規則であったり、止まったり、遅かったりする	—	お買上げ店へ連絡してください。

電源プラグ(プラグアダプター付)の点検(年に1～2回の点検)

次の項目を点検してください

電源プラグ(プラグアダプター付)が、専用のコンセントに差し込まれていますか？
他の機器との共用を中止し、専用のコンセントを用意してください。

電源プラグ(プラグアダプター付)や電源コードに異常な発熱や破損、重いものがかかったり、挟み込まれていたりしていませんか？

異常の場合は、すぐにお買上げ店へ修理を依頼してください。

電源プラグ(プラグアダプター付)の刃と刃の取り付け面、コンセントにほこりがついていませんか？

ほこりがついている場合は清掃して取り払ってください。

仕様

品名	冷凍食材粉碎調理機 【EASY Giaz】	
型式	EG-1	
外形寸法	幅 210・奥行 412・高さ 564mm	
電源	100V 50 / 60Hz	
電流	13A	
消費電力	1200W	
安全装置	入れ過ぎ検出装置、ホルダー検出装置、過負荷防止装置、 モーター保護装置	
ポーション設定範囲	1～10（工場出荷時 1ポーション 80gの設定） （1ポーション 20g（最小）に変更した場合 1～40） （1ポーション 140g（最多）に変更した場合 1～5）	
パコタイズ食材冷凍温度	-18℃～-23℃	
材質	本体ケース	ステンレス
	ビーカーガasket	ガラス繊維入強化ポリアミド
	ホルダー	ガラス繊維入強化ポリアミド
	ビーカー	ステンレス（容量 800mL）
	ビーカー蓋	ポリエチレン
	各ブレード	ステンレス刃物鋼
質量	本体 23kg	
電源コード	コードの長さ 1.4m	

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

梱包内容一覧

箱の中には次のものが入っています。足りない場合は、お買上げ店へ連絡してください。

本体	1台
ビーカー	2個
ビーカー蓋	2個
ホルダー	1個
排気ホース 260mm	1本
排気ホース 1m	1本
洗浄用ブラシ 細	1本
洗浄用ブラシ 太	1本
除菌洗浄剤	1個
グリス	1個
ヒューズ（予備）	1個
取扱説明書（本書）	1冊
保証書	1部

保証書(別添付)について

保証書の内容をよくお読みのうえ、必要事項を必ずご記入ください。

保証書から返信ハガキを切取っていただき、保証書は紛失にご注意され、お客様にて大切に保管してください。

返信ハガキは商品ご購入後、1か月以内にご返信ください。

消耗部品

本商品の消耗部品は以下のものになります。

ブレード	ビーカー
ビーカー蓋	排気ホース
ホルダー	ビーカーガスケット
スクレーパー	ガスケットシールプレート
パッキン類	フィルター
洗浄用ブラシ	付属の洗浄剤
付属のグリス	ヒューズ

消耗部品は、保証の対象外になります。

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品とは、本商品の性能を維持するために必要な部品です。

弊社では、本商品の補修用性能部品の保有期間は、販売打ち切り後5年とさせていただきます。

株式会社エフ・エム・アイ

東京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所 札幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙台：〒983-0039 仙台市宮城野区新田東1丁目15番6号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス盛岡：〒020-0124 盛岡市厩川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>